

1. 地区概要

(1) 地区の状況

市場西中町は旧東海道沿いに位置し、日本橋より五里目の一里塚が築かれており、天文年間(1540年代)頃には魚介の市が開かれるなど、市街地の歴史は古い地区である。

近代以降の市街化は、明治38年に京浜急行の前身にあたる大師電気鉄道が品川から横浜間に延び、鶴見市場駅が開設されたことも大きな起因であるほか、大正2年を皮切りに臨海地域での埋め立て工事がはじまり、京浜工業地域の一翼を担うこととなり、昭和49年まで埋め立て工事が行われたうえに、東京と横浜を結ぶ第一京浜国道が大正15年に開通、昭和16年には第二京浜国道が開通した道路整備状況から、臨海地域に大規模工場が立ち並ぶにつれ、人や家も集積していた。

戦争における空襲の甚大な被害も被ったものの、昭和20年から40年代にかけて、中小の下請け工場が増加し、今日のような住工の混在地を形成するも近年においては、工場の転出に伴う跡地の住宅化も見られているようになっている。

(2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

① 市場西中町地区

图-1 位置图

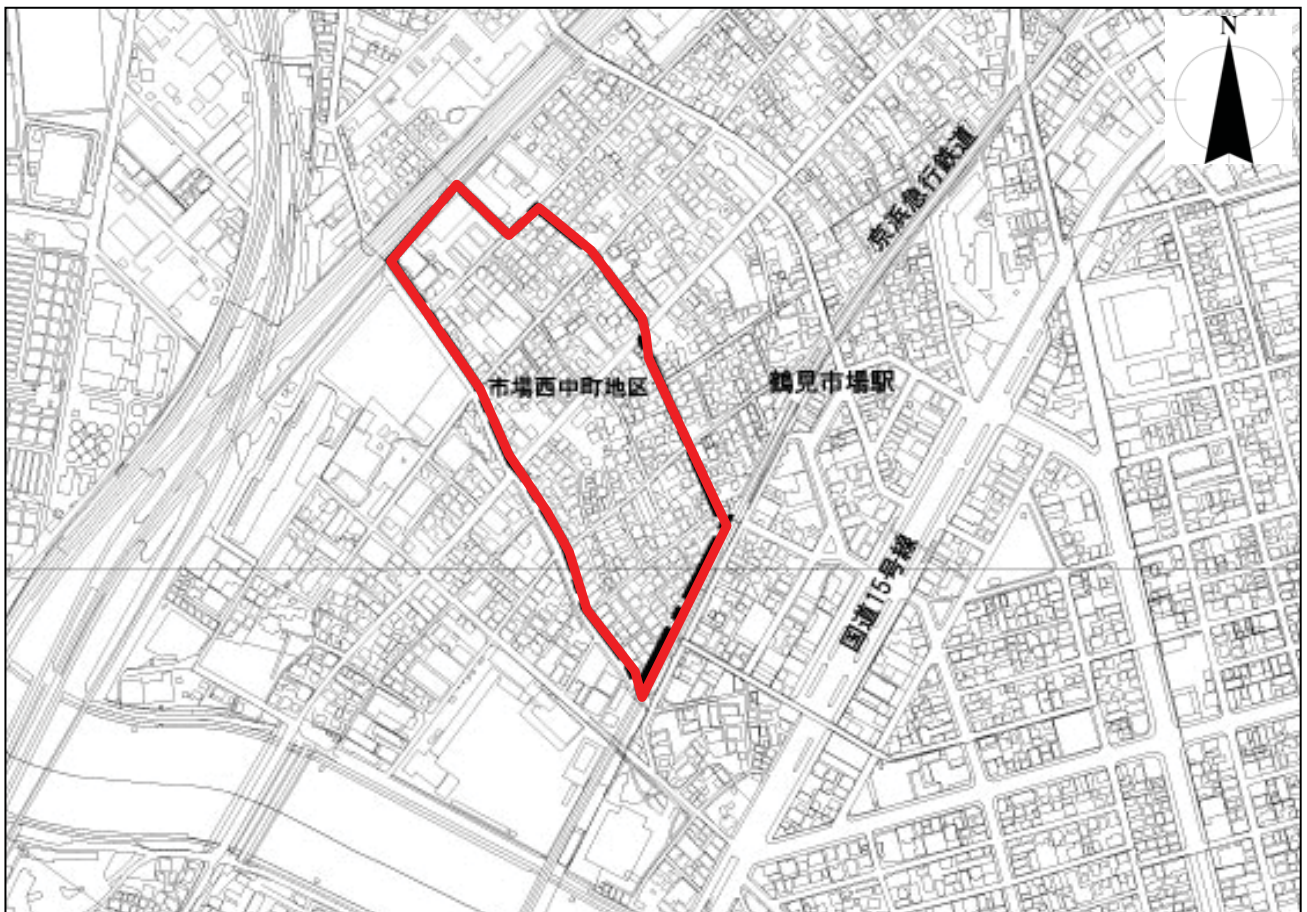
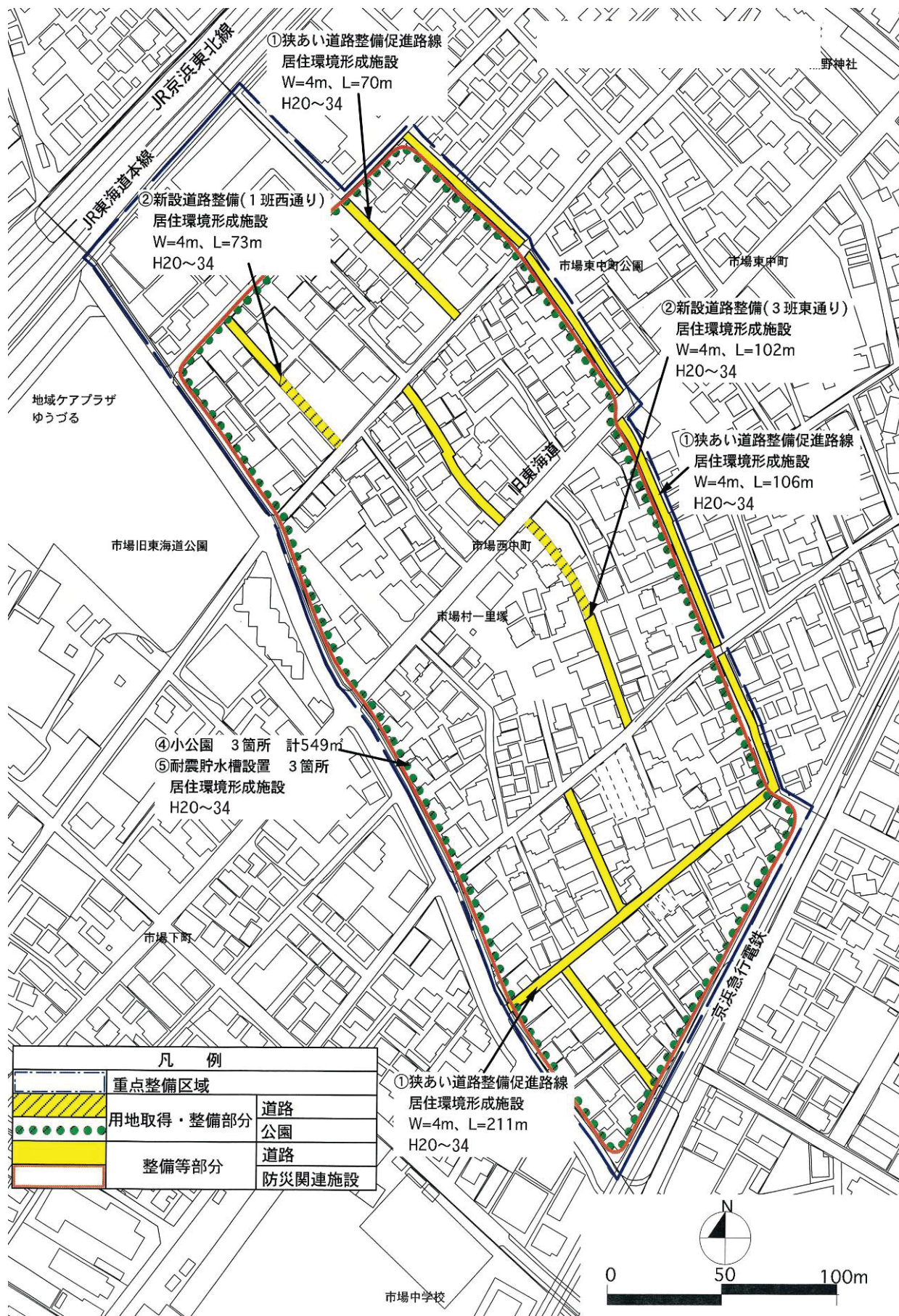


图-2 区域图

①-2

① 市場西中町地区



凡 例	
	重点整備区域
	用地取得・整備部分
	整備等部分
	道路
	公園
	道路
	防災関連施設

図-4 事業計画概要図

3. 協議会の活動状況

(1) 地元諸元

協議会名	鶴見区市場西中町まちづくり協議会
協議会エリア面積	6.1ha

(2) 地元経緯

平成 15 年 11 月	第 1 回勉強会の開催
平成 16 年 11 月	「鶴見区市場西中町まちづくり協議会」を設立
平成 18 年 1 月	地域まちづくり組織として認定
平成 20 年 1 月	地域まちづくりプランとして認定
平成 20 年 4 月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成 22 年度	小広場①の整備
平成 24 年度	小広場②の整備
平成 28 年 7 月	地域まちづくりプランの認定変更
平成 30 年 3 月	狭あい道路整備促進路線の拡幅整備



協議会



まち歩き

4. 事業の執行状況

(1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、23.4%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

① 道路整備

狭あい道路整備促進路線については、整備計画 562mに対して 71m整備済みであり、進捗率は、12.6%である。

新設道路整備、細街路整備については、いずれも未整備である。

②公園・緑地・広場整備

公園・広場については、整備計画における計画面積 549 m²に対して整備面積 463 m²であり、計画箇所数 3 箇所のうち 2 箇所整備済みである。進捗率は、事業費 87.3%である。

③防災関連施設

小広場の整備に併せ、3基のうち防火水槽 1基の設置を行った。

④老朽建築物等除却

6件の建物除却を行った。進捗率は、1.6%である。

(2) 実績状況写真



小広場整備① 330m²



小広場整備② 133m²



防火水槽 40m³ 1箇所

(3) 事業実績図

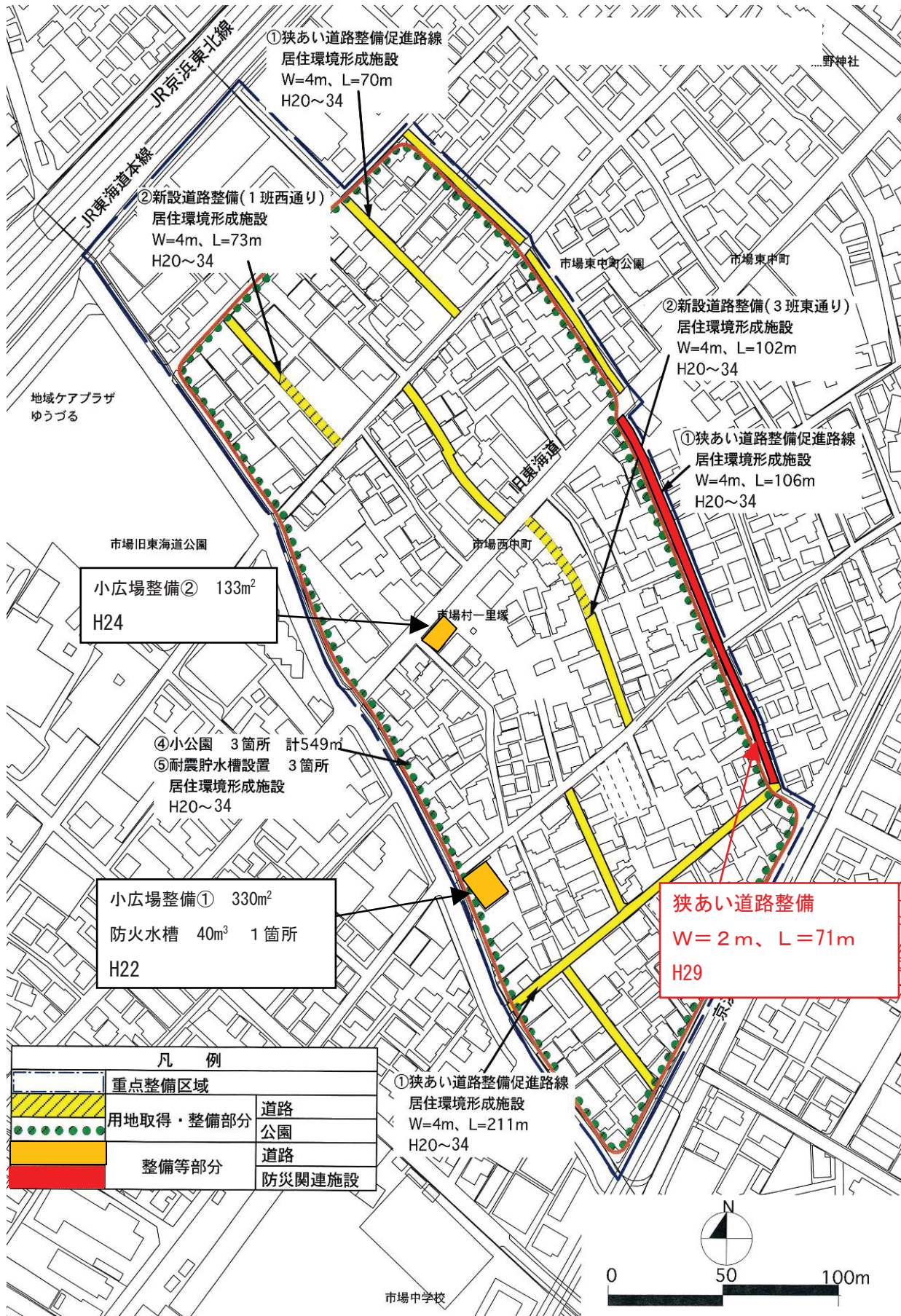


図-5 事業実績図

1. 地区概要

(1) 地区の状況

当地区では、戦前の臨海部埋め立て、大規模工場の進出に合わせた急激な市街化の進展、高度成長期の工業活動の活性化による木造賃貸住宅の増加により、住工商が混在する密集住宅地が形成された。

地区の東側部分は戦災復興土地区画整理事業が施行された区域であり、基本的な道路基盤は整備されている。しかし、西側部分は戦災を免れたため、基盤の整備が行われないうまま急激な市街化の波を受けたことから、道路、公園等の基盤が未整備な上に人口密度の高い木造密集住宅地となり、防災上・住環境上の問題を抱える地区となっている。

(2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

2. 整備計画

整備計画図を図-3(1)、図-3(2)、事業計画概要図を図-4に示す。

図-1 位置図

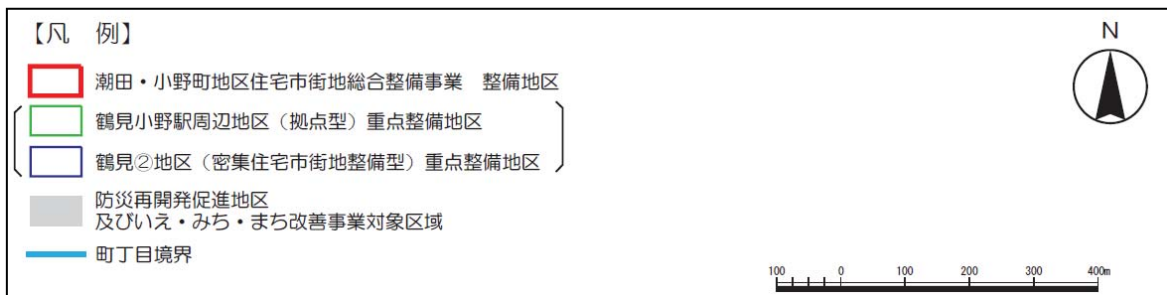
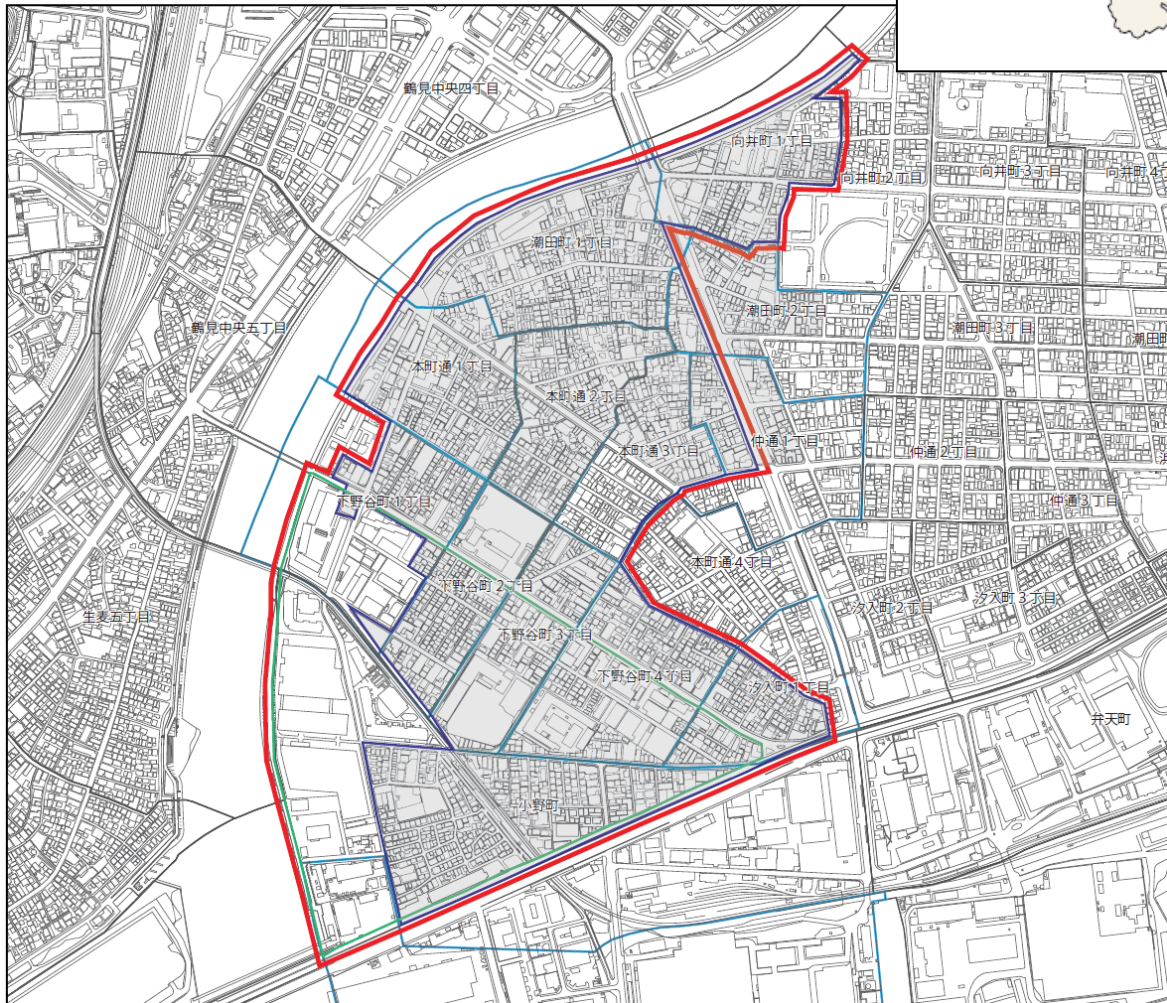
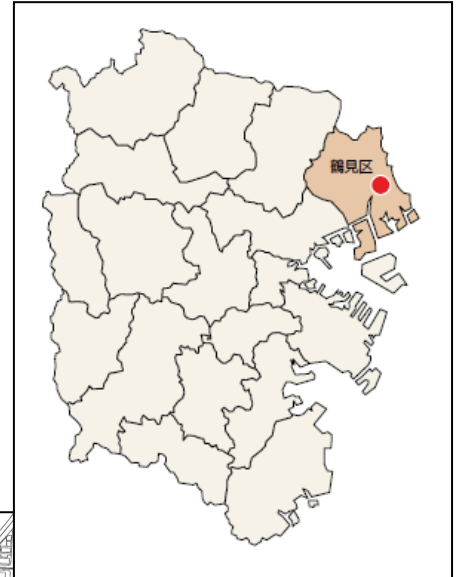


図-2 区域図

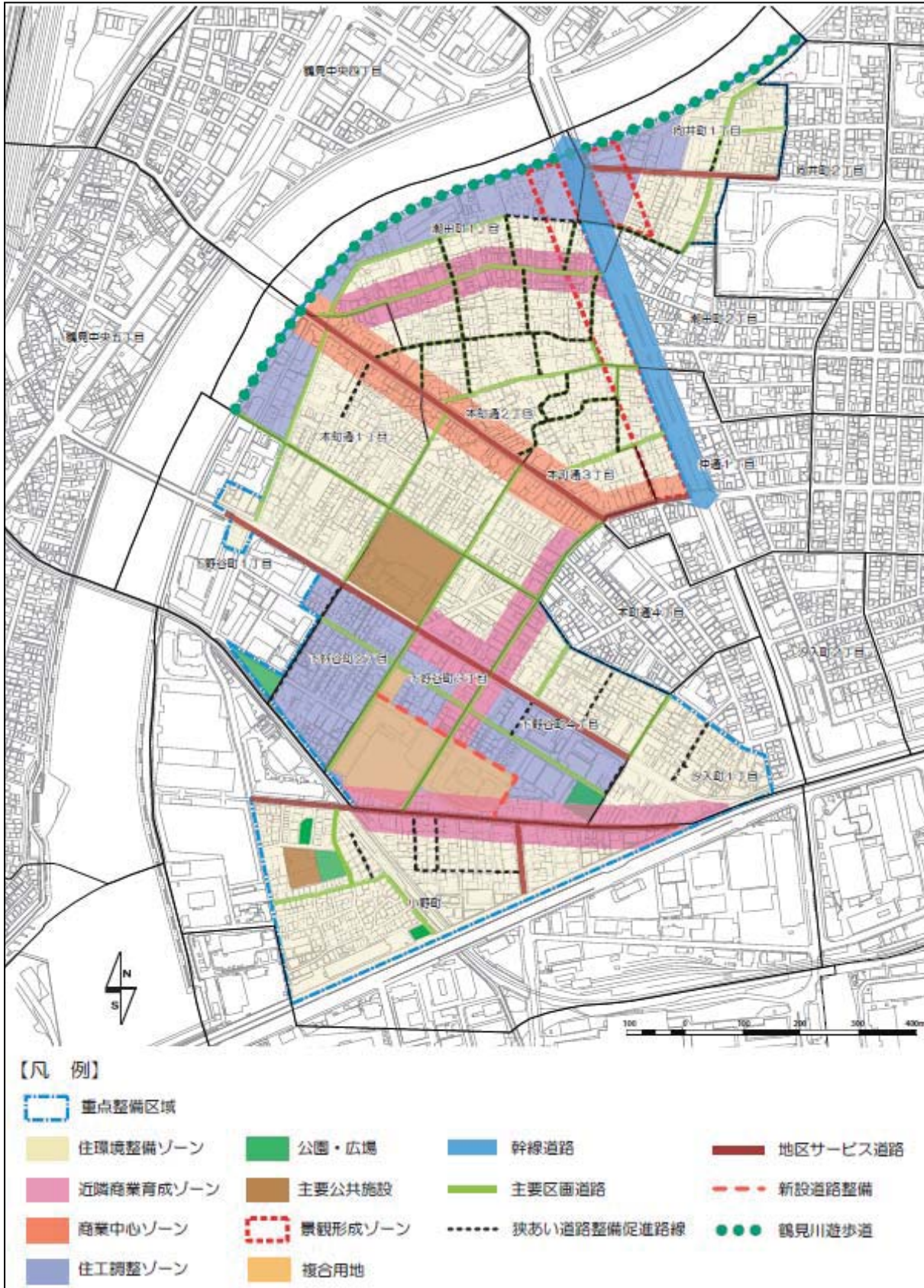


図-3(1) 整備計画図（密集型）

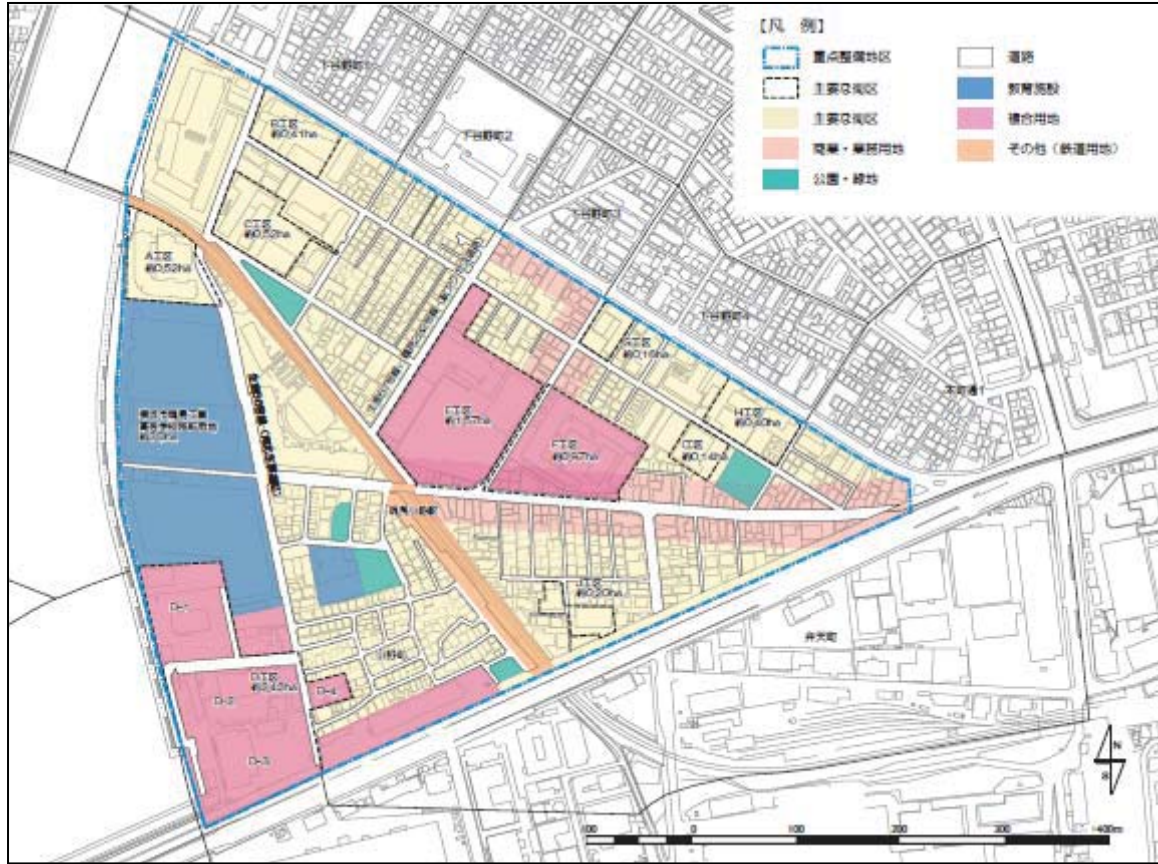


図-3(2) 整備計画図 (拠点型)

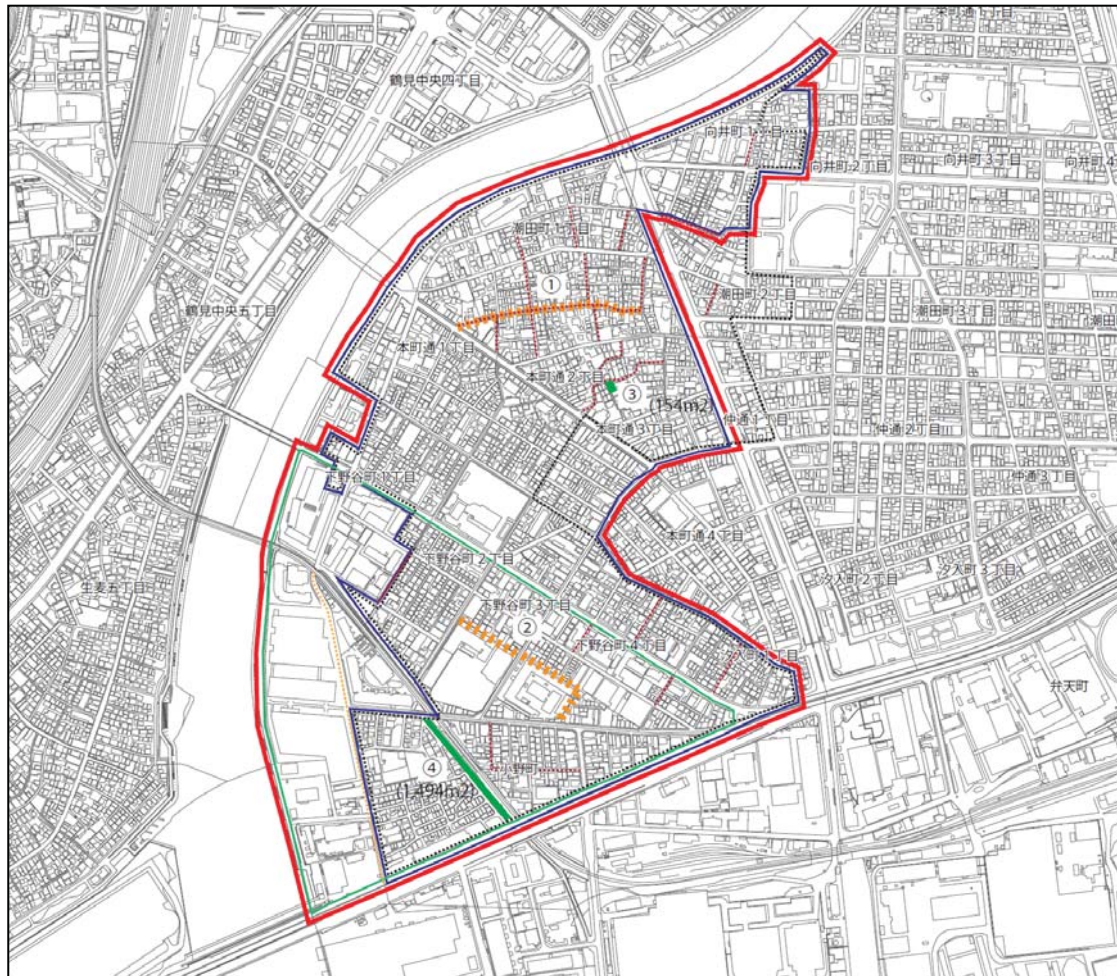


図-4 事業計画概要図（密集型、拠点型）

3. 協議会の活動状況

(1) 地元諸元

協議会名	潮田・本町通地区まちづくり協議会
協議会エリア面積	20.0ha

協議会名	下野谷1・2丁目防災まちづくり協議会
協議会エリア面積	9.0ha

(2) 地元経緯

平成5年11月	(密集型) 市街地住宅密集地区再生事業開始
平成9年6月	「潮田・本町通地区まちづくり協議会」発足
平成11年	広場づくりのワークショップ開催
平成11年11月	「潮田・本町通地区 まちづくり構想」を横浜市に提案
平成12年	本町通三丁目に小広場が完成
平成13年	小野町に緑道を整備
平成13年4月	(拠点型) 住宅市街地整備総合支援事業開始
平成16年8月	「鶴見潮田・本町通街並み誘導型地区計画」都市計画決定
平成20年4月	密集型と拠点型の統合に伴い潮田・小野町地区に名称変更 (住宅市街地総合整備事業)
平成21年3月	市道生麦第66号線の一部整備
平成23年3月	鶴見工業高等学校閉校
平成25年3月	「下野谷1・2丁目防災まちづくり協議会」発足
平成29年1月	鶴見工業高等学校跡地東側に通り抜け通路を整備
平成30年4月	特別養護老人ホーム ¹ [角地]オープン
平成30年4月	看護専門学校開校
平成30年4月	公園(約2,800m ²)開園

② 潮田・小野町地区

平成 30 年 4 月	鶴見工業高等学校跡地西側に通り抜け通路を整備
-------------	------------------------

4. 事業の執行状況

(1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、密集型 27.3%、拠点型 16.8%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

【密集型】

①道路等整備

整備計画における計画延長 600mに対して、約 280mを整備し、進捗率は約 47%である。

②公園・緑地・広場整備

公園・広場については、整備計画における計画面積 1,798 m²に対して整備面積合計 1,648 m²であり、箇所数 3 箇所のうち 2 箇所整備済みである。進捗率は、86.1%である。

③建替促進助成

建替促進については、整備計画における支援量 132 棟 329 戸に対して、28 棟 282 戸となり、現在のところ、進捗率は、6.4%である。

④耐震改修

耐震改修については、整備計画における支援量 100 戸に対して、2 戸となり、進捗率は、1.4%である。

⑤老朽建築物等除却

老朽建築物等除却については、整備計画における支援量 7 棟に対して、2 棟となり、進捗率は、28.6%である。

【拠点型】

①道路整備

整備計画における計画面積 660mに対して、350mの整備実績となっている。進捗率は 16.8%である。

(2) 実績状況写真



広場整備 154m²



緑道整備 1,494m²



鶴工跡地通り抜け通路整備（東側）※



鶴工跡地通り抜け通路整備（西側）※



道路整備（拠点型）



拡幅 350m

※今回整備

(3) 事業実績図 (密集型・拠点型)

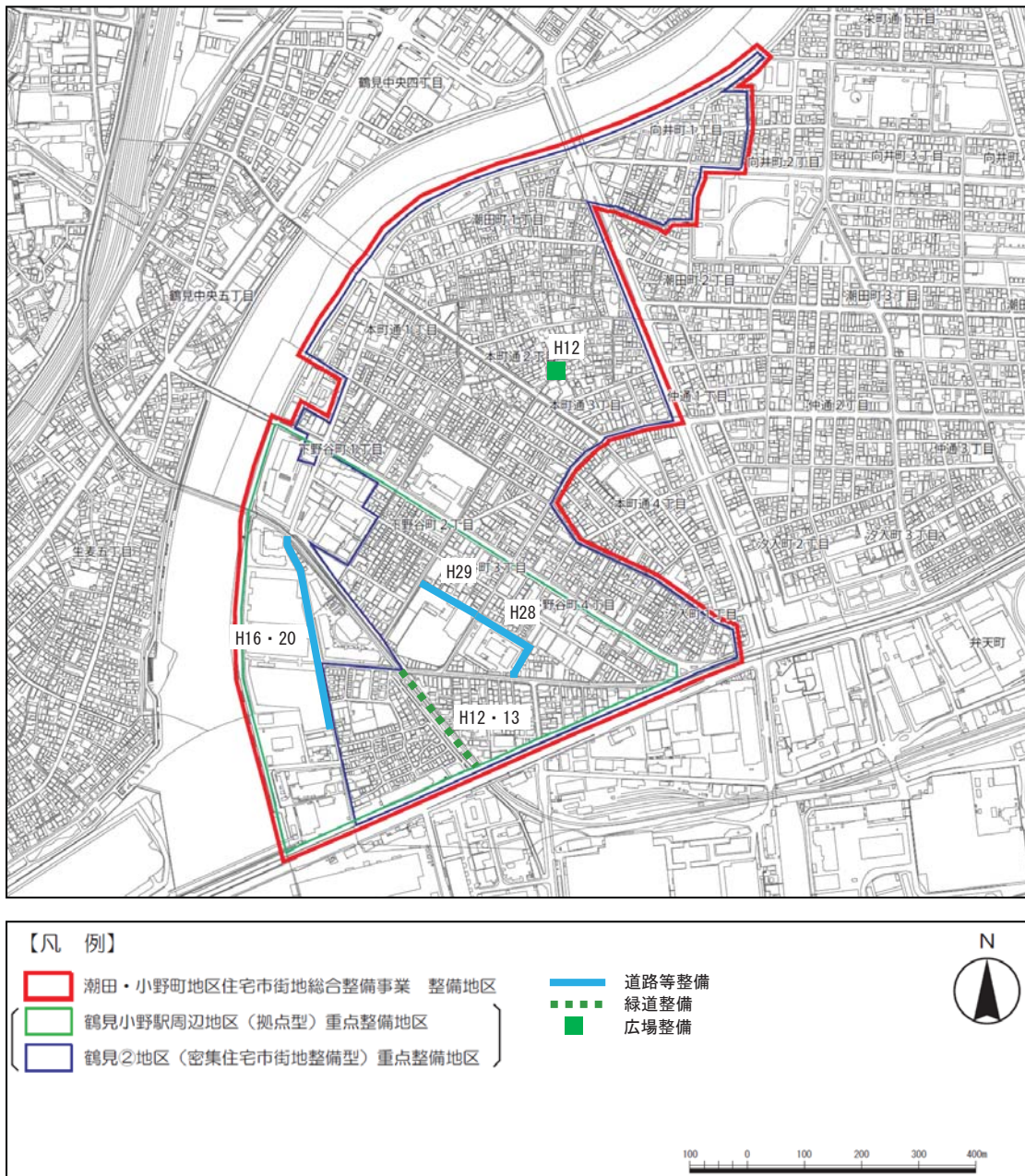


図-5 事業実績図

1. 地区概要

(1) 地区の状況

当地区は横浜市神奈川区の東部に位置し、京浜急行子安駅及び神奈川新町駅に近接し、国道15号線と入江川第二派川に挟まれた南北に細長い地区である。

この地区は、江戸時代には東海道沿いの東京湾に面した漁村であったが、大正時代には工場誘致のために埋め立て事業が進められ、内湾漁業より工業が優先されるようになった。昭和6年の満州事変以後、京浜工業地帯には新たな工場が建設され一大工業地帯を形成することになったが、それに伴い漁場が縮小していき戦後の漁業権放棄後は、各戸の改築による住宅規模の拡大が重なり、路地も狭くなり現在の密集した市街地となった。

当地区は区画整理による基盤整備がなされず、未接道敷地が数多く存在し、古い木造住宅も多く存在する等、防災上の問題を抱えている。

(2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

③ 浦島町・子安通地区

図-1 位置図

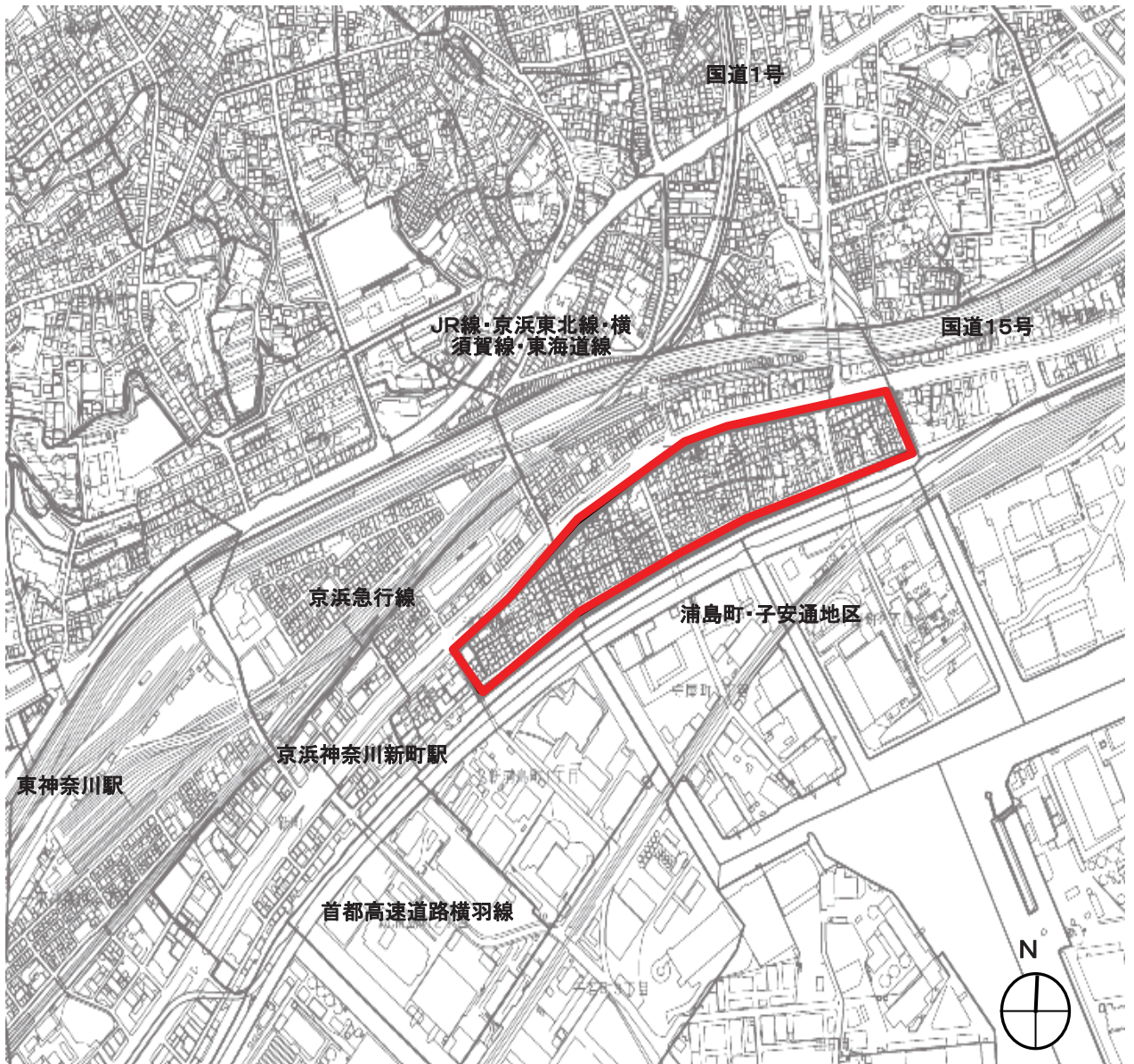
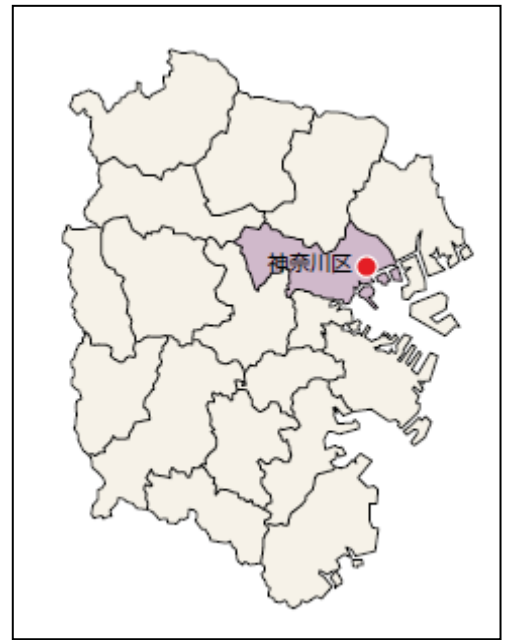


図-2 区域図

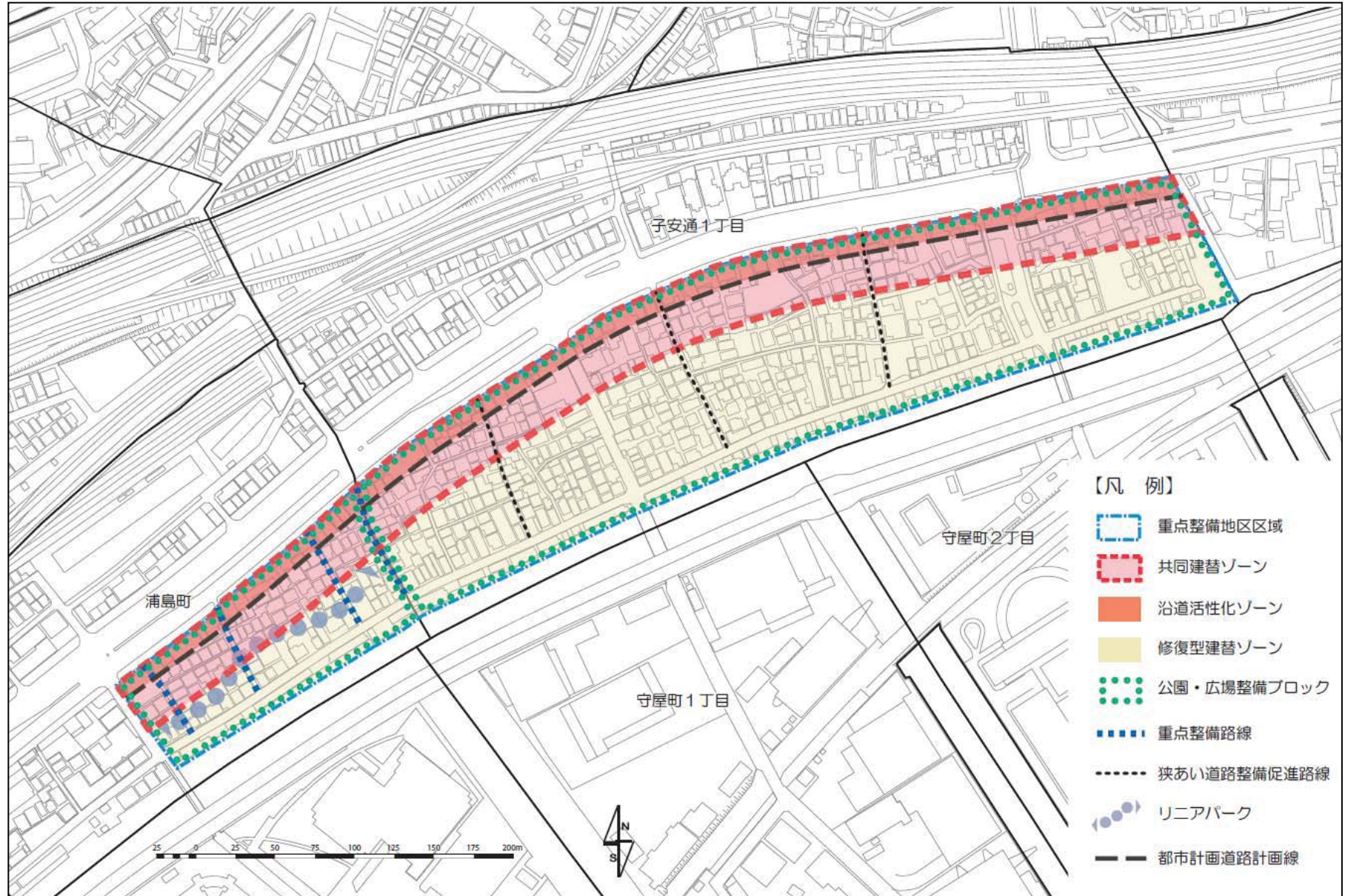


図 - 3 整備計画図

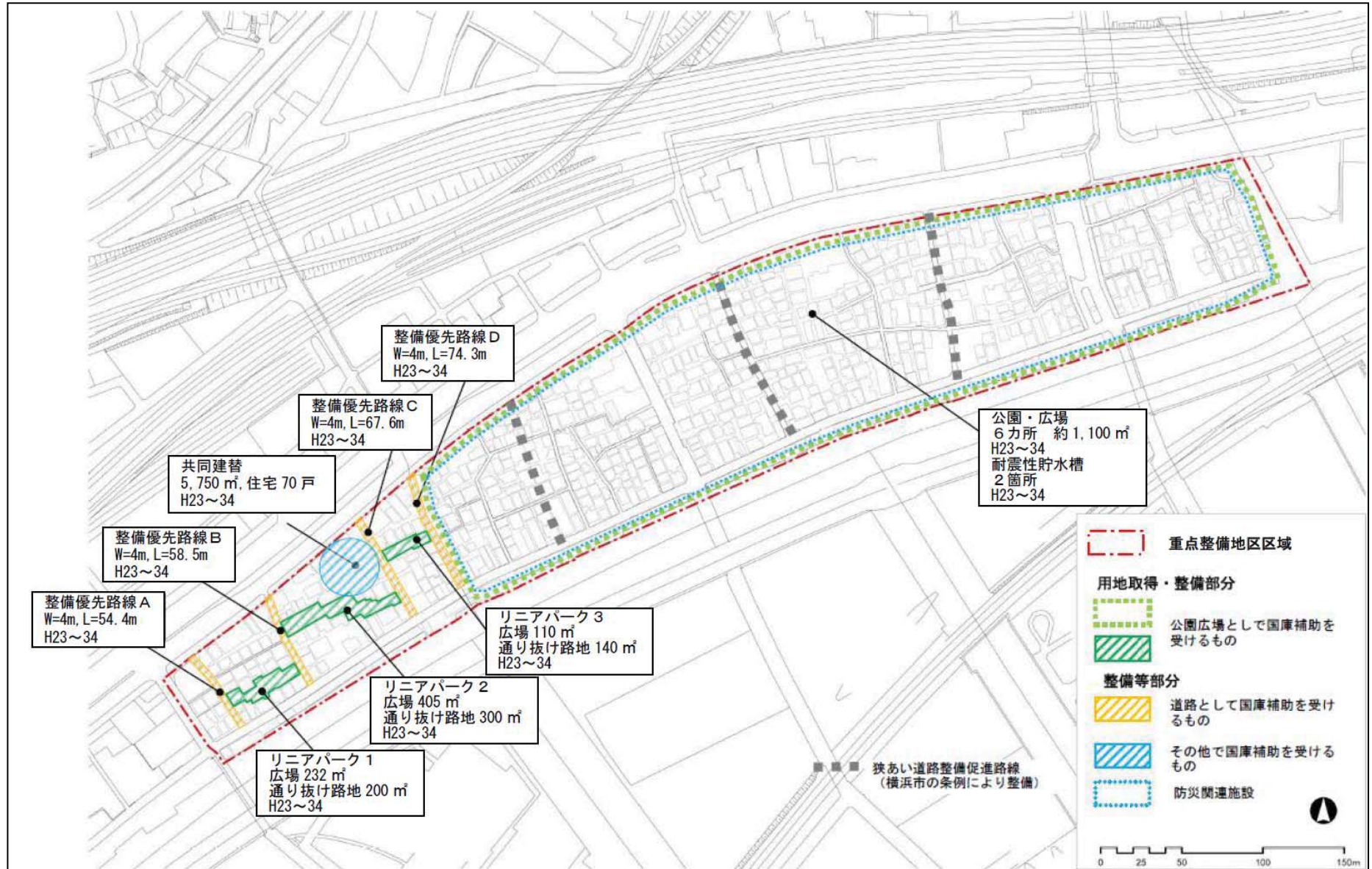


図 - 4 事業計画概要図

3. 協議会の活動状況

(1) 地元諸元

協議会名	浦島町まちづくり協議会（平成17年度から平成27年度） 浦島町防災まちづくり部（平成27年度から）
協議会エリア面積	1.1ha

(2) 地元経緯

平成15年12月	第1回勉強会の開催
平成16年6月	共同建替についての勉強会
平成17年12月	まちづくり協議会設立総会
平成18年4月	ヨコハマ市民まち普請事業に参加
平成20年9月	共同建替モデル説明会
平成21年9月	臨時総会において、防災まちづくり計画の承認
平成21年11月	地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定
平成23年4月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成23年11月	地区間交流会実施（滝頭・磯子まちづくり協議会）
平成24年1月	防災井戸の再整備
平成25年3月	防災避難路マップの発行
平成26年6月	まちなか防災表示（海拔表示、防災避難路マップ）の設置



協議会



まち歩き

4. 事業の執行状況

(1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、事業費ベースで0.19%となっている。

① 老朽建築物等除却

3件の建物除却を行った。

(2) 実績状況写真



【防災避難路マップ】



【海拔表示】

1. 地区概要

(1) 地区の状況

当地区は横浜市西区の南部に位置し、中心市街地にほど近い利便性の高い立地環境にあり、地区は北東側を開いた凹状の地形で標高 20m～40mの丘状の市街地が大半をしめている。

この地区は、関東大震災後に地区周辺の工業・商業が発展し市街地の原型が形成された。震災の影響により、地区東側の一部では土地区画整理事業による公共施設の整備が進んだが、地区のほとんどが震災の影響が少なかったため、区画整理による基盤整備がされず、狭小幅員道路が多いほか、古い木造住宅も存在する等、防災上の問題を抱えている。このため、この地区では道路の拡幅整備や老朽住宅の解消をはかっていく。

(2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

图-1 位置图

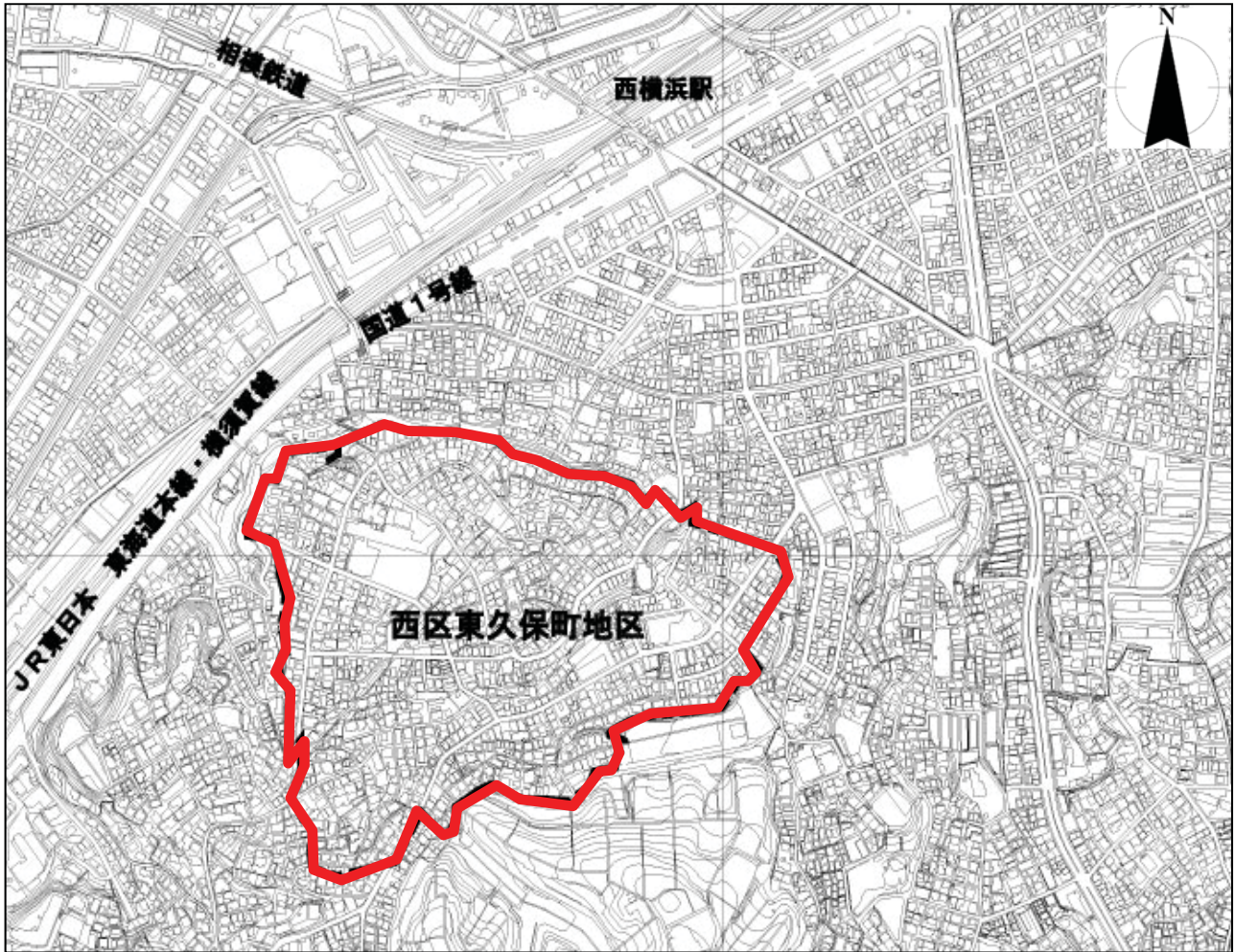
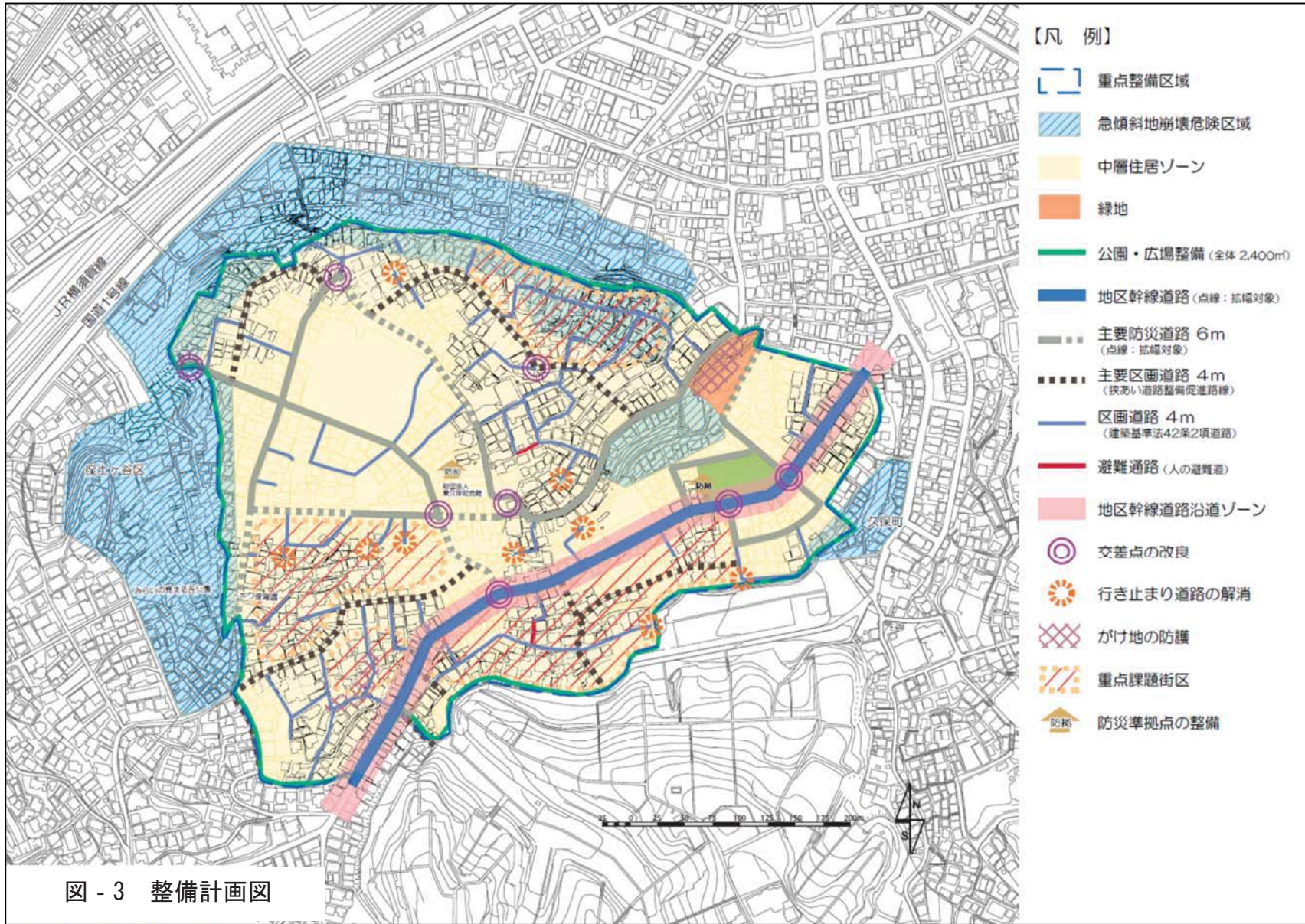
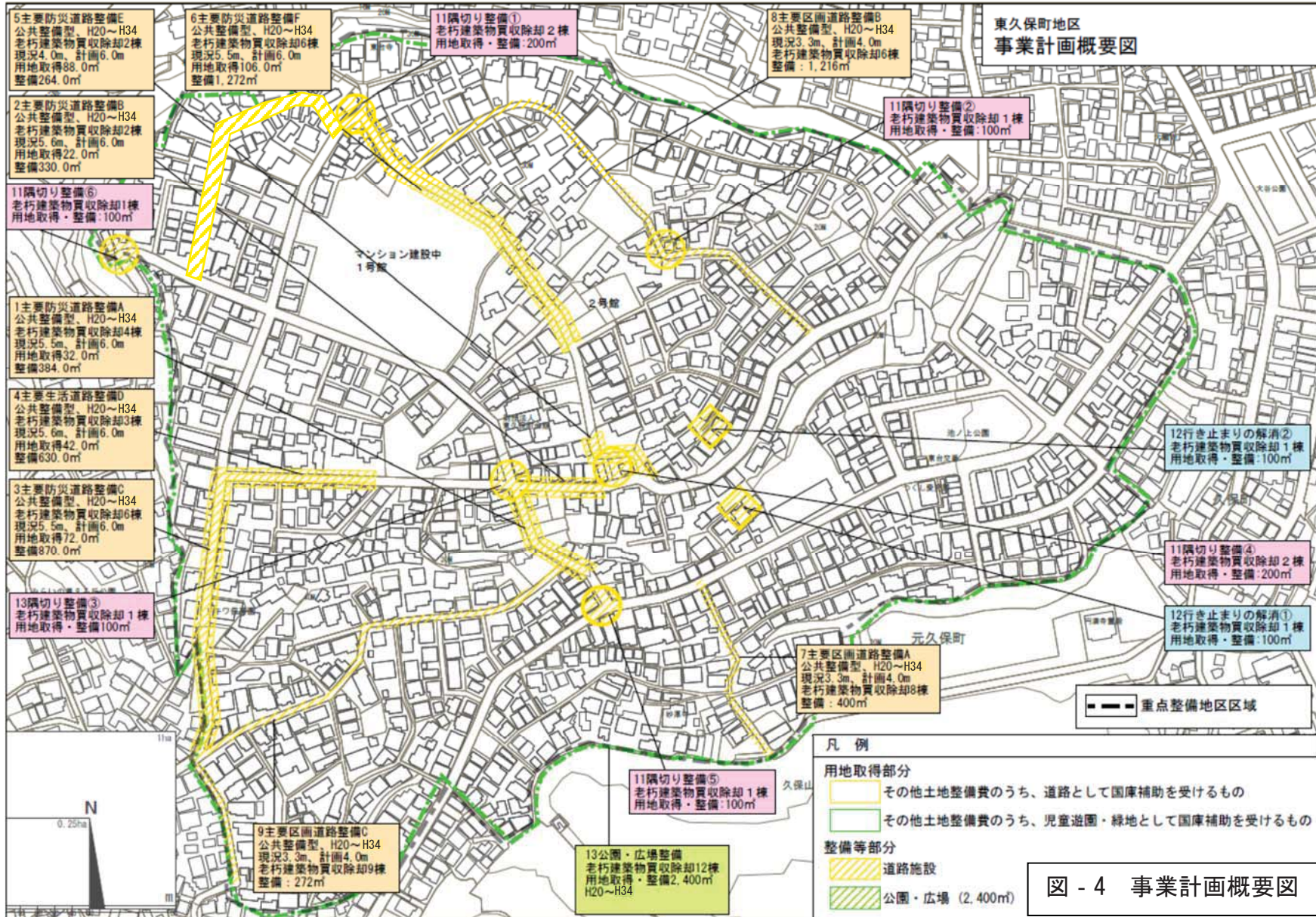


图-2 区域图





3. 協議会の活動状況

(1) 地元諸元

協議会名	東久保夢まちづくり協議会
協議会エリア面積	20.4ha

(2) 地元経緯

平成 15 年 12 月	第 1 回勉強会の開催
平成 17 年 7 月	「東久保夢まちづくり協議会」設立
平成 17 年 8 月	夢まちづくりニュース発行
平成 18 年 10 月	地域まちづくり組織として認定
平成 19 年 12 月	防災まちづくり計画を承認
平成 20 年 4 月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成 20 年 4 月	地域まちづくりプランとして認定
平成 21～22、24 年	地域まちづくり推進条例に基づく事業費助成の申請・整備
平成 22 年 3 月	防災の手引き、防災マップの策定（全戸配布）



「夢やさい」の販売（自主財源の確保）



防災イベントでの起震車の体験

4. 事業の執行状況

(1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、7.8%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

①道路整備

整備計画における計画延長 2,256mに対して、整備実績はない。一部の道路で測量調査(160m)、道路の設計を実施している。

②公園・緑地・広場整備

公園・広場については、整備計画における計画面積 2,400 m²に対して整備面積 2,159 m²であり、計画箇所の整備が済んでいる。進捗率は、32.1%である。

③建替促進助成

建替促進については、計画 14 件に対して 1 件の建物除却を行った。

④老朽建築物等除却

1 件の建物除却を行った。

(2) 実績状況写真



緑地整備 (2,159m²)



防災備蓄倉庫設置 (緑地内)



かまどベンチ設置



井戸ポンプ整備



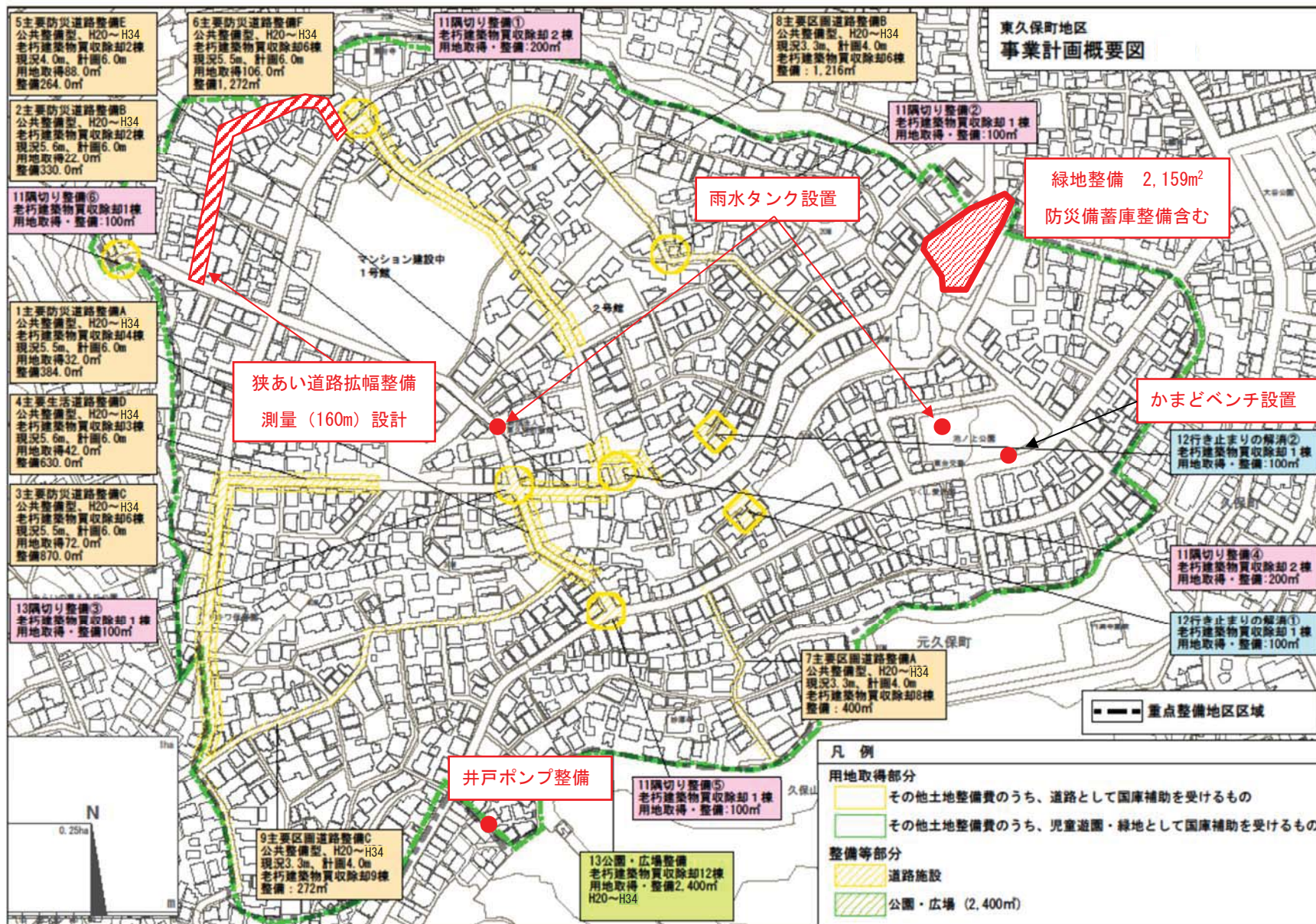
建替促進助成 (除却後)



雨水タンク設置

(3) 事業実績図

(赤字が整備箇所)



1. 地区概要

(1) 地区の状況

当地区は神奈川県横浜市の中東部に位置し、市中心部からも比較的近い位置にある。最寄り駅は京急日ノ出町駅で、直線距離にして約 350m に位置する。また、横浜駅や桜木町駅からはバスが運行されている。

地区中央の南北道路と地区南境の東西道路を尾根として、西戸部町 1 丁目、西戸部町 2 丁目にそれぞれすり鉢状の地形となっており、高低差は約 30m に及ぶ。

「西戸部町」という町名が創設された明治34年当時は人家もまばらであったが、戦後になって都市基盤が未整備のまま宅地化が急激に進んだ。また、地形に沿って木造住宅が密集して建て込み、現在に至っている。

(2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画概要図を図-4に示す。

图-1 位置图

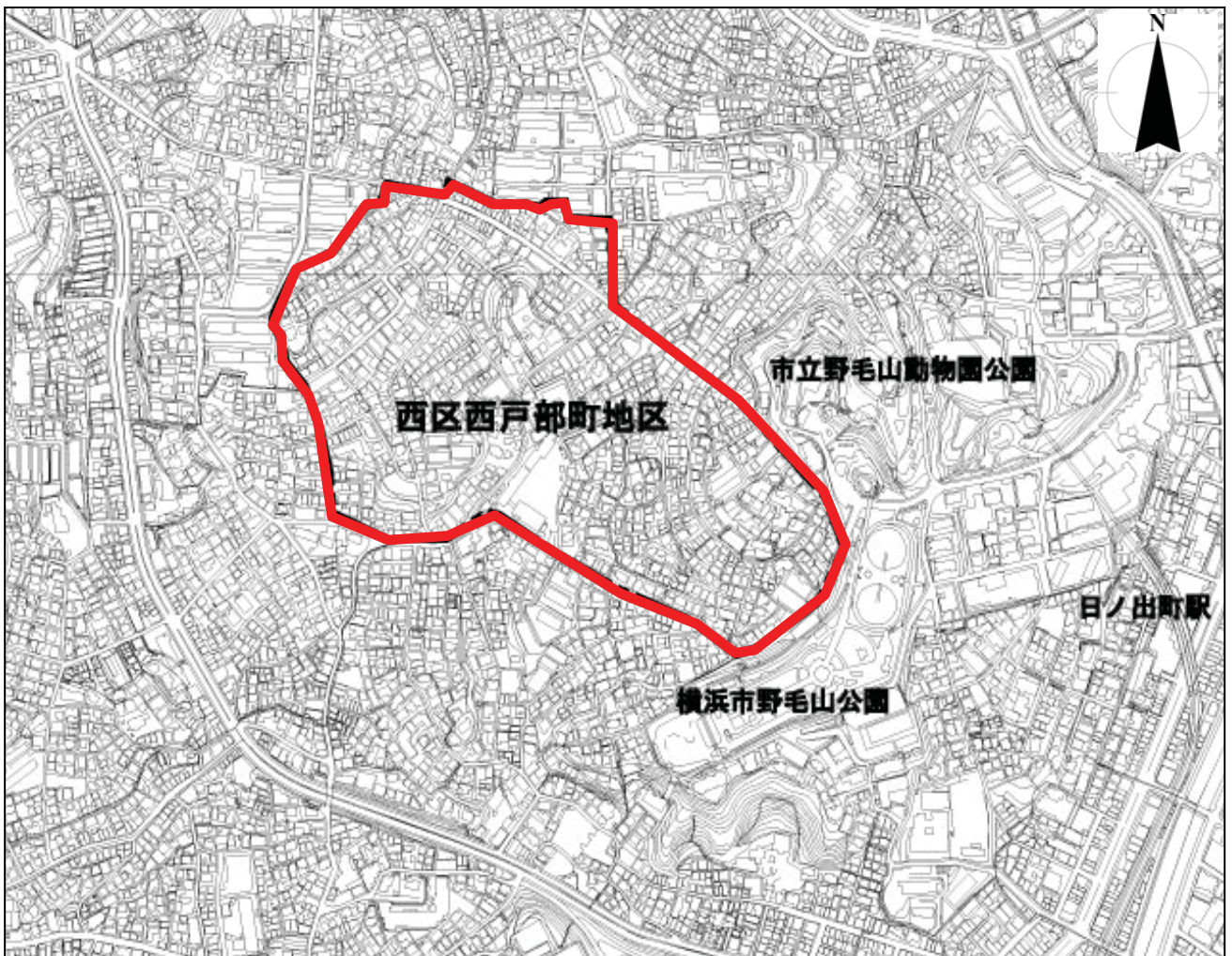


图-2 区域图

⑤ 西戸部町地区

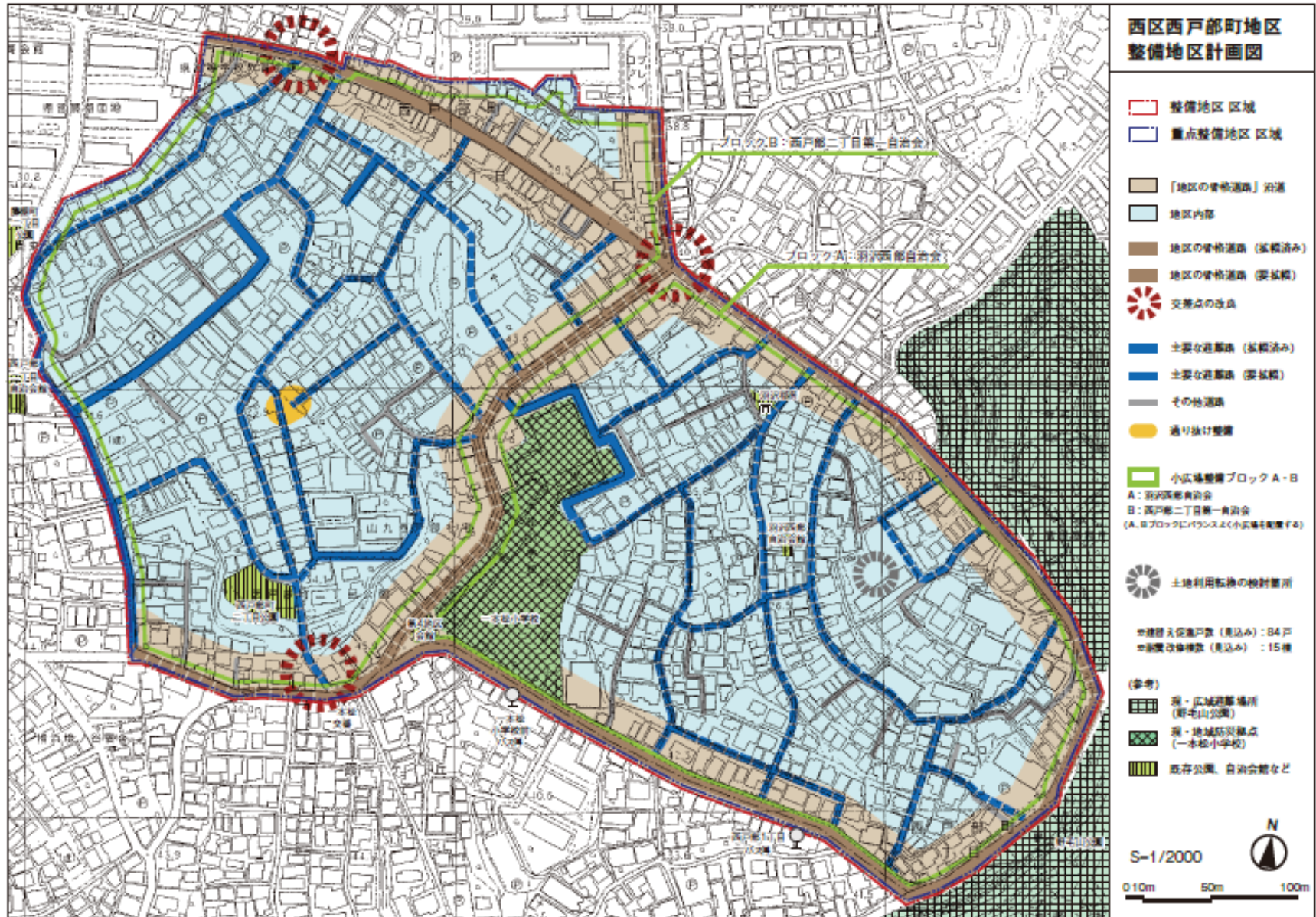


図 - 3 整備計画図

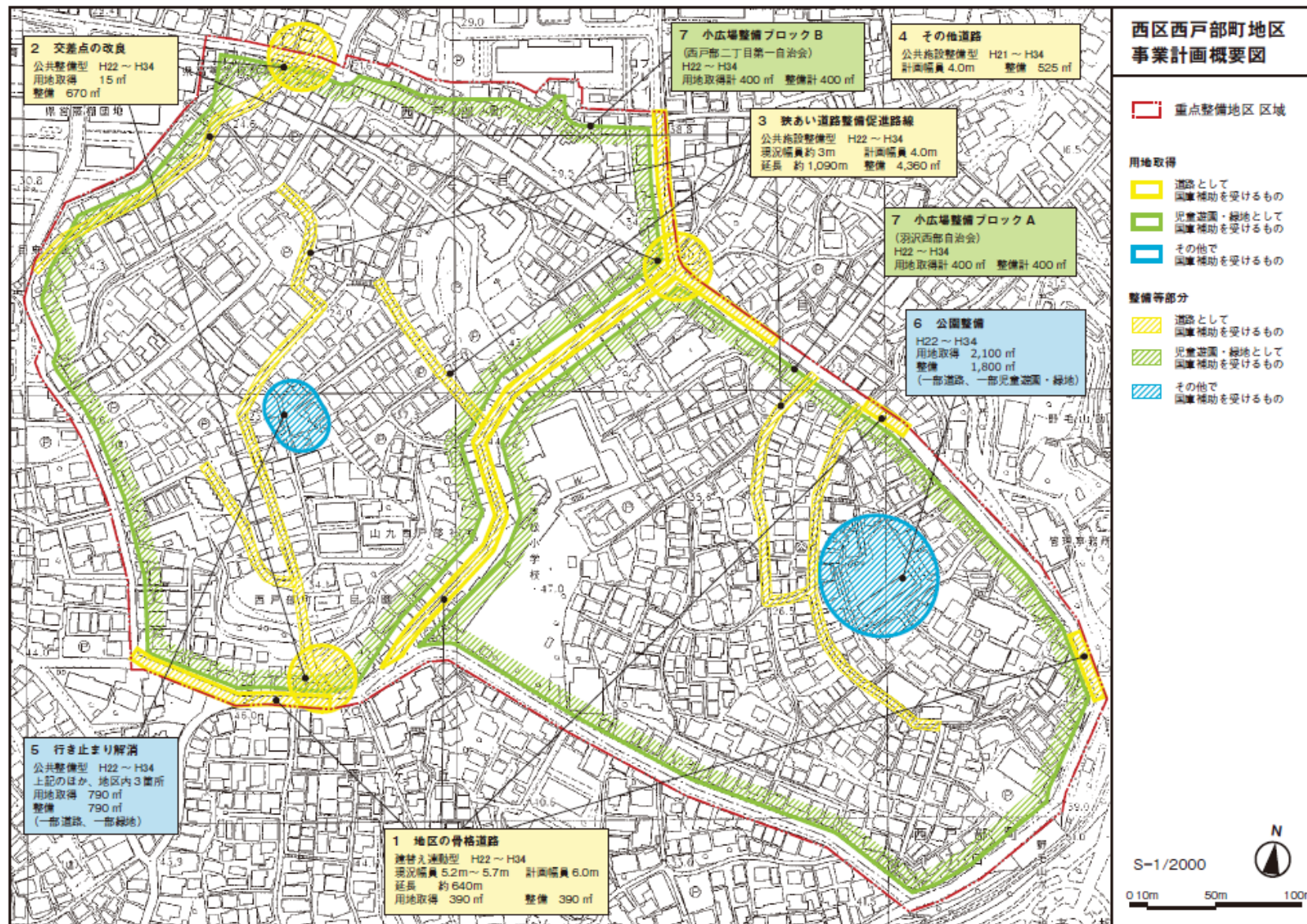


図 - 4 事業計画概要図

3. 協議会の活動状況

(1) 地元諸元

協議会名	一本松まちづくり協議会
協議会エリア面積	18.2ha

(2) 地元経緯

平成 16 年 7 月	第 1 回勉強会の開催
平成 18 年 4 月	ヨコハマ市民まち普請事業に参加、わくわく広場整備
平成 18 年 6 月	「一本松まちづくり協議会」設立
平成 20 年 7 月	防災まちづくり計画を承認
平成 20 年 8 月	地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定
平成 21～22 年	地域まちづくり推進条例に基づく事業費助成の申請・整備
平成 21 年 4 月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成 24 年 9 月	「一本松地区防災マップ」策定（全戸配布）
平成 25 年 8 月	協議会掲示板設置
平成 26 年 10 月	防災ステップアップキャンプ（野毛山公園）開催
平成 27 年～28 年	主要避難経路における愛称の募集及びプレートの設置

(3) 活動の様子



【まち歩きの様子】

4. 事業の執行状況

(1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、5.5%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

① 道路整備

整備計画における計画延長 1,730mに対して、整備延長は 75mである。進捗率は、12.5%である。

② 公園・緑地・広場整備

公園・小広場については、整備計画における計画面積 2,900 m²に対して、約 700 m²の用地取得をしている。

(2)実績状況写真



【道路整備 拡幅 60m】



【協議会掲示板】



【かまどベンチ】



【井戸ポンプ整備】



【雨水タンク整備】



【主要避難経路の愛称】

(3) 事業実績図

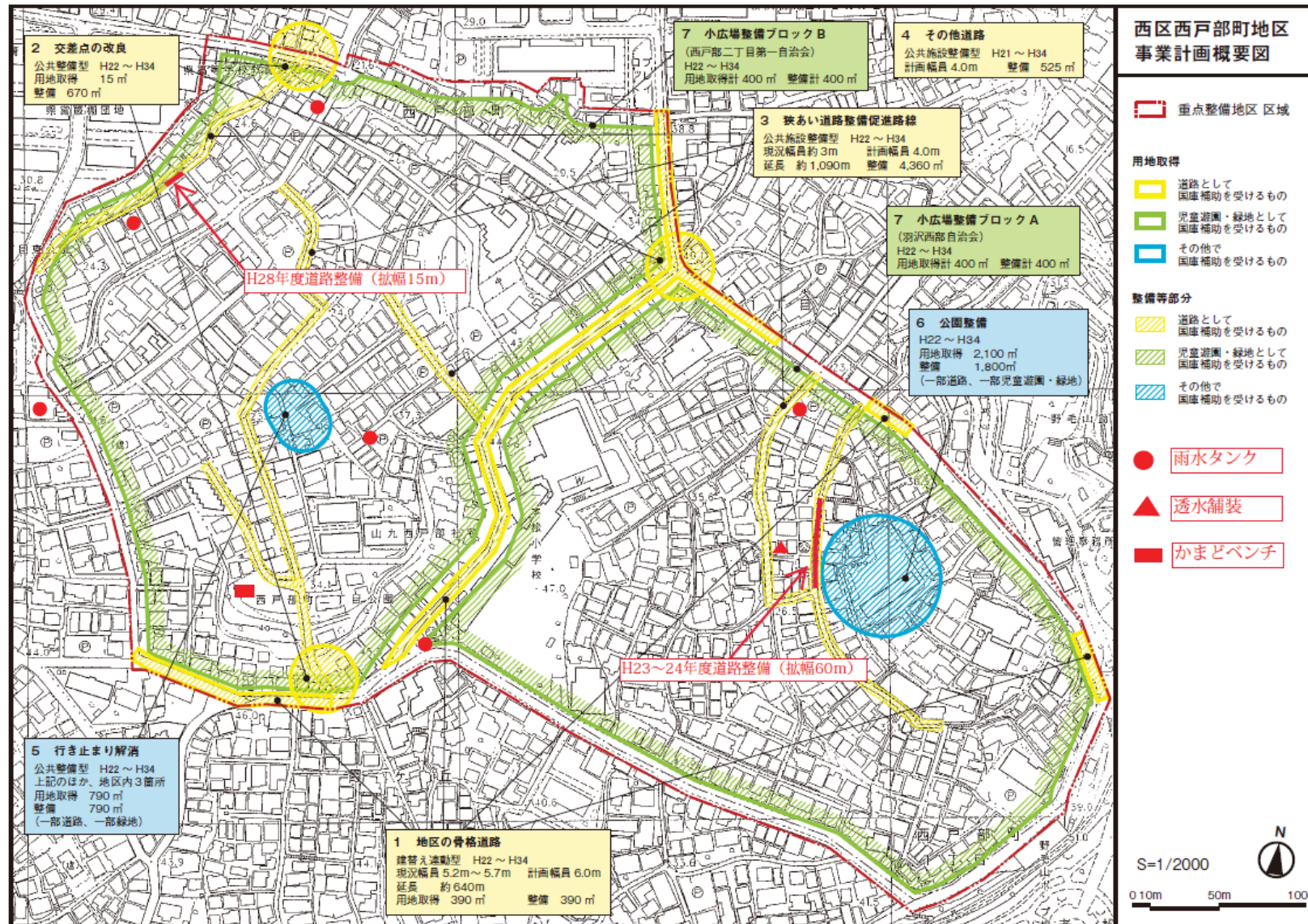
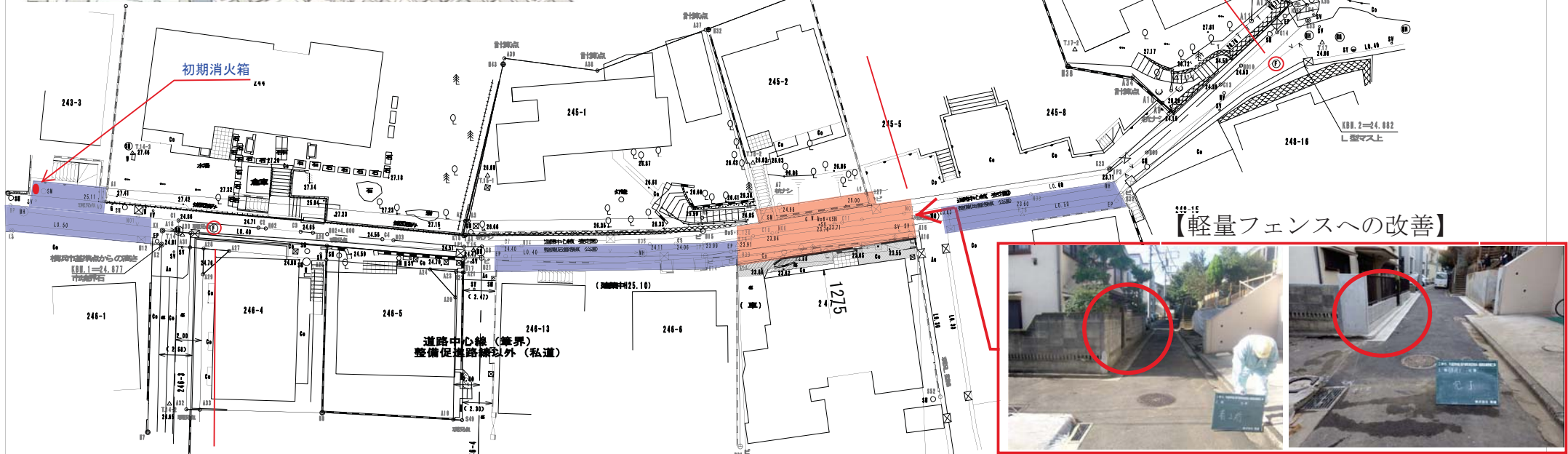


図-5 事業実績図



(⑤) : 西戸部町地区

全路線延長
約600m



【軽量フェンスへの改善】



整備前

整備後

道路中心線 (兼界)
整備促進路線以外 (私道)

整備延長15m
アスファルト舗装工 (A=48m²)

- 凡例
- 平成28年度整備
 - 後退済み箇所
 - ⓕ 消火栓

考察

- ・路線600m (31件) 中1件を整備し、元幅員3.0mから4.0mに整備した。
- ・消火活動スペースが確保された
- ・老朽ブロック塀から軽量フェンスへの改善がされたことにより、避難時の安全性が確保された

路線名			
工事名	平成28年度西戸部町地区狭あい道路拡幅整備工事		
工事箇所	西戸部町2丁目247番地先		
図面名	全体計画平面図		
縮尺	1/300	図面番号	1/7
設計年月	平成29年1月		
横浜市都市整備局都市防災まちづくり推進課			

1. 地区概要

(1) 地区の状況

当地区は、横浜市中区の中部に位置し、2つの尾根とそれに挟まれた谷（大沢谷戸）が南北方向に伸びる形で地形が形成されており、高低差の著しい地区である。

当地区の土地利用は、住宅地が主であるが、地区北側の本牧通りの旧道沿いに商店や事務所が立地している。住宅地は、地区内を南北に通るガス山通り及び大沢谷戸を軸として形成されており、その後背にある斜面地にまで及んでいる。また、公園・広場については、地区内には1箇所もなく、周辺地区にある公園等からも遠距離にある。

(2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

2. 整備計画

整備計画図を図-3、事業計画実績図を図-4に示す。

图-1 位置图

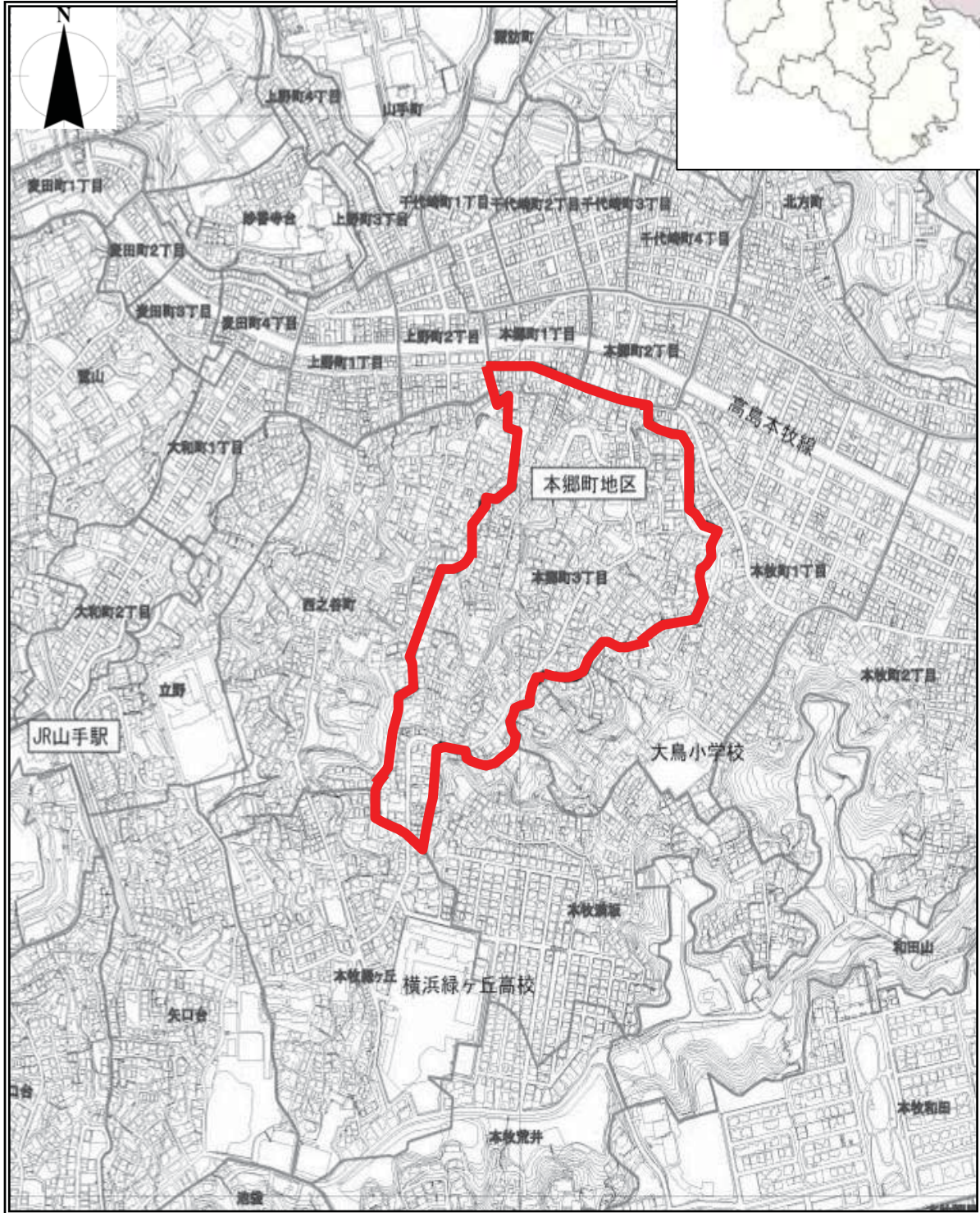


图-2 区域图

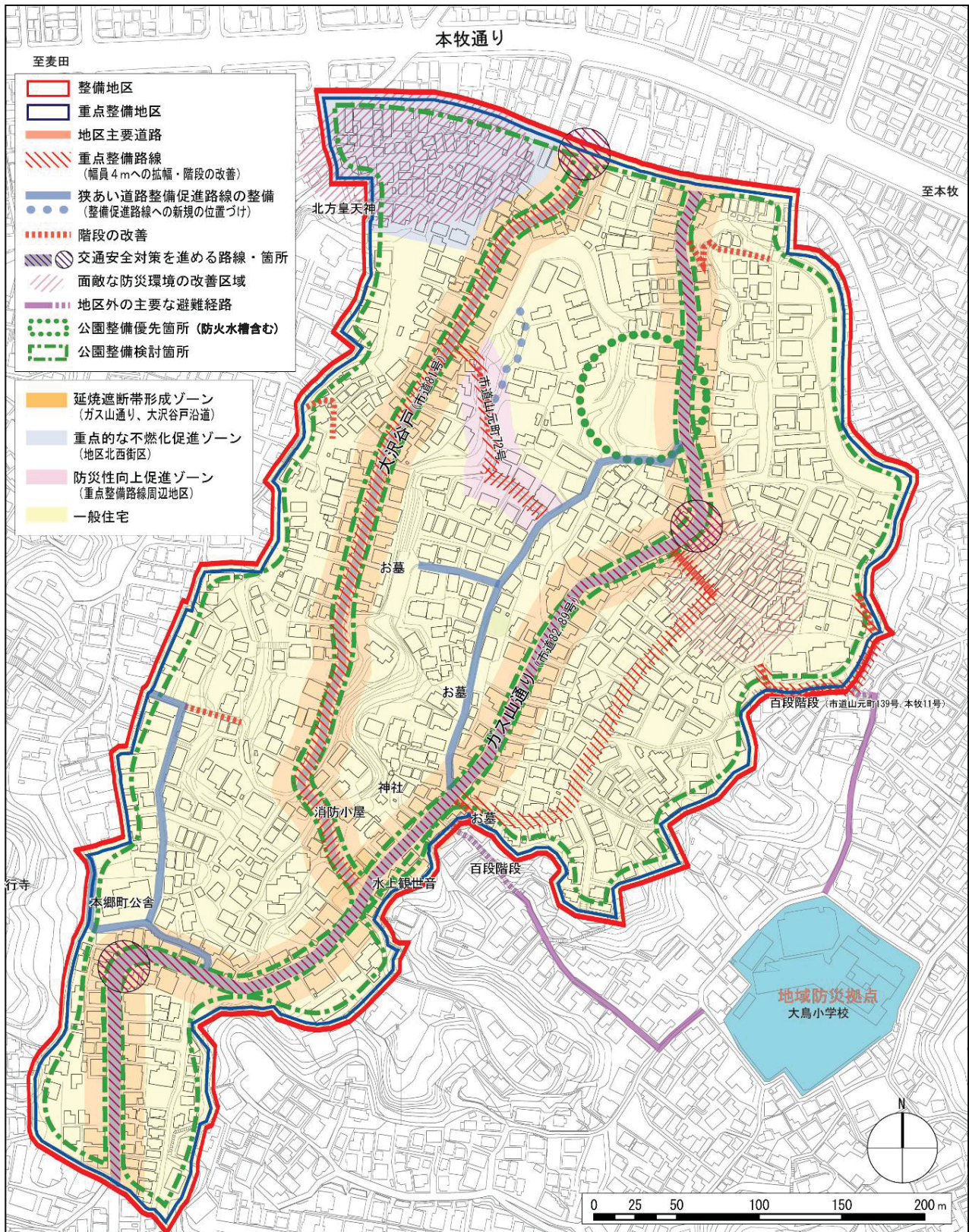


図-3 整備計画図

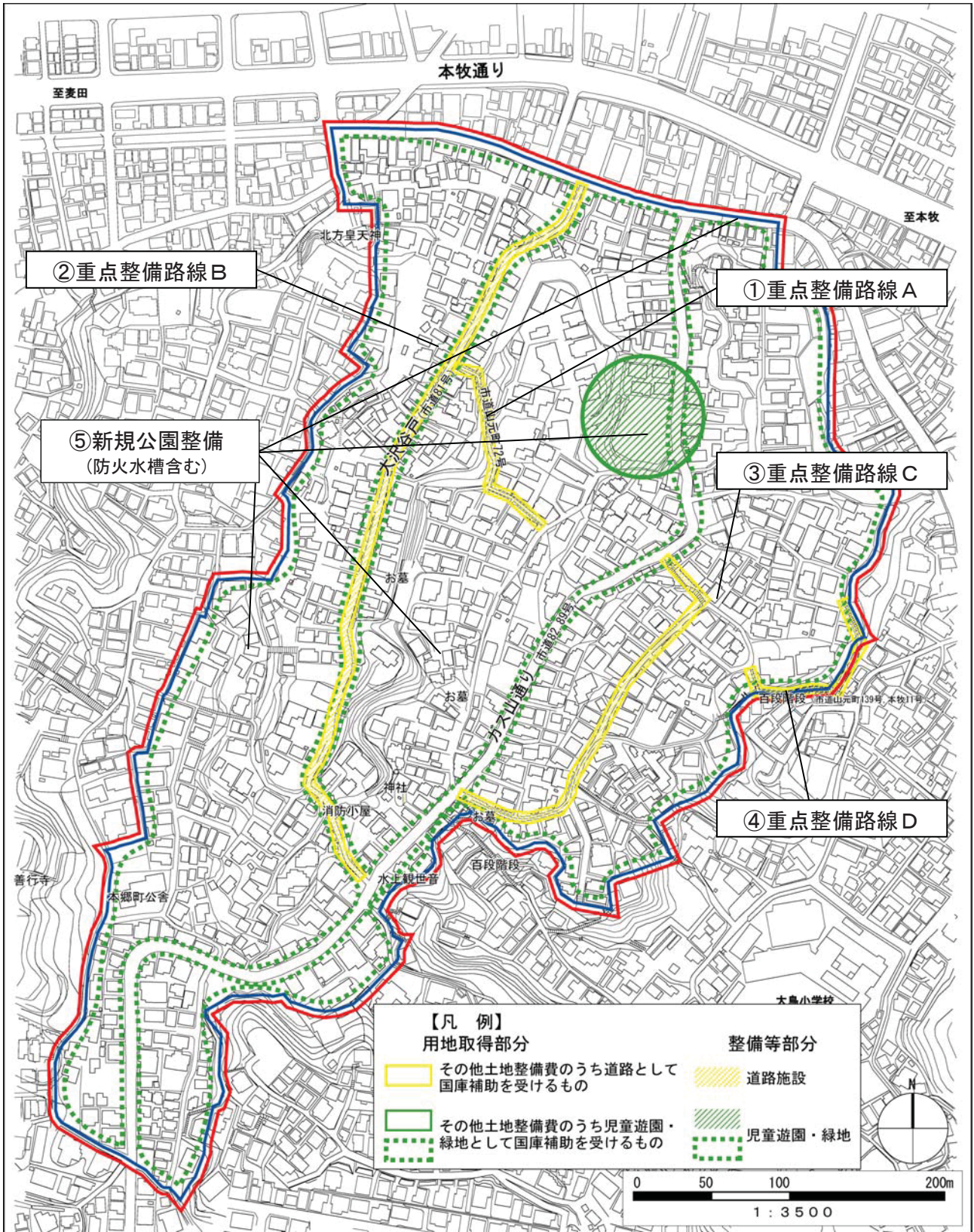


図-4 事業計画概要図

3. 協議会の活動状況

(1) 地元諸元

協議会名	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会
協議会エリア面積	17.4ha

(2) 地元経緯

平成17年3月	第1回勉強会の開催、まちづくりニュース第1号発行
平成18年11月	「住みよいまち・本郷町3丁目地区まちづくり協議会」設立 総会開催、地域まちづくりグループ登録
平成20年12月	地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定
平成21年4月	住宅市街地総合整備事業に着手
平成21年2月	「住みよいまち・本郷町3丁目地区防災マップ」策定（全戸配布）
平成24年5月	本郷町ガス山公園開園
平成25年4月	「住みよいまち・本郷町3丁目地区まちづくりガイドブック」策定（全戸配布）
平成26年度	狭あい道路拡幅整備 74.4m 完了
平成29年4月	自主防災マニュアル策定（全戸配布）
平成29年4月	地域まちづくりプランの「防災まちづくり計画」変更認定



協議会



まち歩き

4. 事業の執行状況

(1) 計画に対する事業の進捗状況（事業費ベース）

全体としての進捗率は、事業費ベースで23.5%となっている。部門別の進捗状況は以下のとおりである。

①道路整備

整備計画における計画延長1,030mに対して、拡幅整備を74.4m実施し、進捗率は3.6%である。

②公園・緑地・広場整備

公園・緑地・広場については、整備計画における計画面積2,600㎡に対して整備面積2,184㎡であり、箇所数3箇所のうち1箇所整備済みである。

③防火関連施設

耐震性貯水槽3基のうち1基整備済みである。

④建替促進助成

1棟の戸建住宅建替を行った。進捗率は10%である。

⑤老朽建築物等除却

2棟の建築除却を行った。進捗率は20%である。

(2) 実績状況写真



狭あい道路拡幅整備

(3) 事業実績図

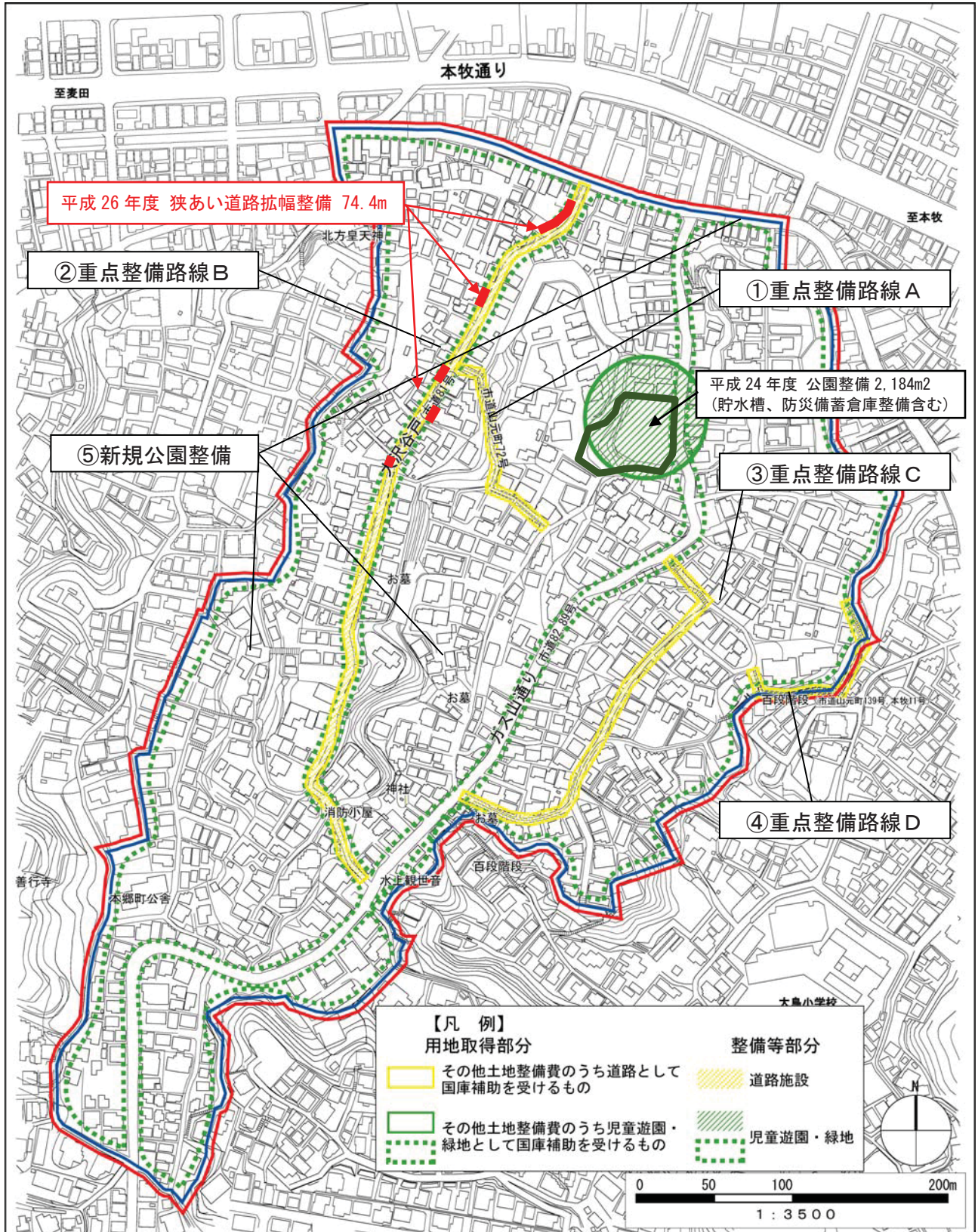


図-5 事業実績図

(⑥：本郷町3丁目地区)

考察

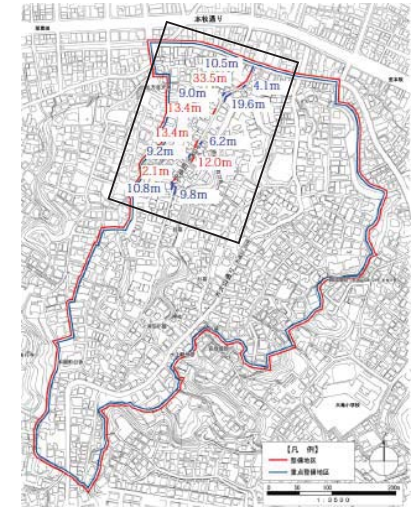
- 全延長505mのうち、西側で62.4mの区間、東側で12.0mの区間で拡幅整備を実施。
- 主要道路の交差点から44m区間において、半断面の拡幅により緊急車両等の進入や、消防活動等が容易になった。
- コンクリートブロック塀を除却し、軽量フェンス等に改善することにより、防災性が向上した。



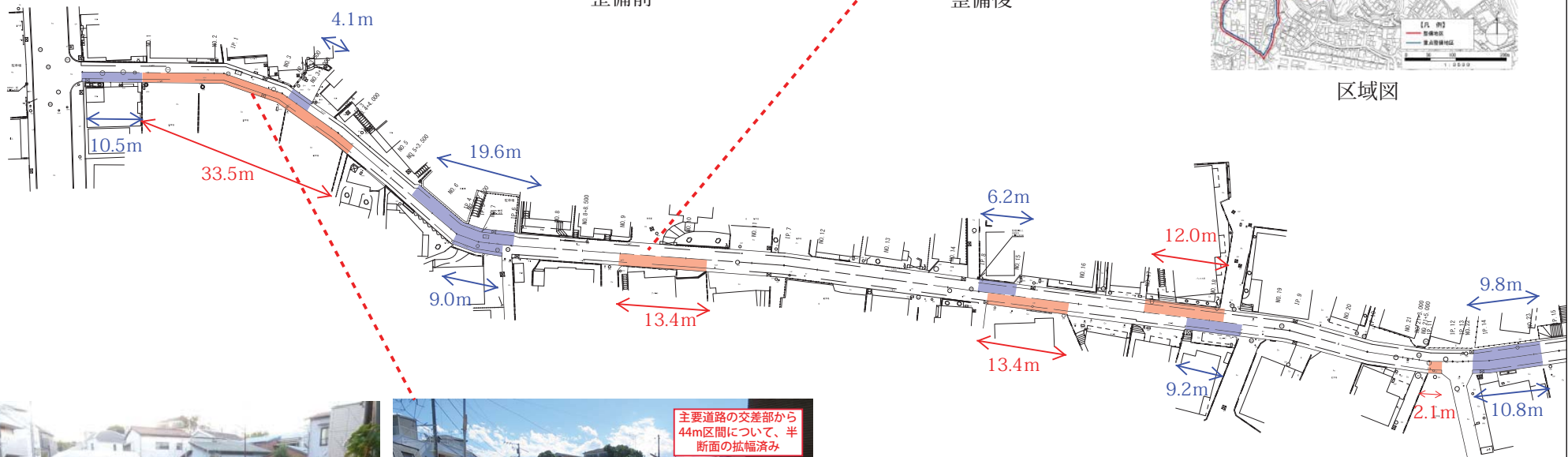
セットバックライン



コンクリートブロック塀から軽量フェンスに改善



区域図



セットバックライン

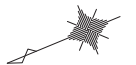
整備前



主要道路の交差点から44m区間について、半断面の拡幅済み

整備後

凡例	
—	H26年度整備
—	後退済み



1. 地区概要

(1) 地区の状況

当地区は、横浜市の中央東側に位置し、山手の丘陵部の南側に帯状に広がる面積約 8.0ha の地区である。

地形は、地区の東端が標高約 3m で最も低く、そこから西側に向かって緩やかな勾配が続いている。地区の北側境界付近の標高が約 10m であり、その北側の山手の丘との間は崖地や斜面緑地となっている。また、道路については、地区の南端を通る旧千代崎川の蓋かけ道路と、地区中央部を通る北方小学校への通学路の 2 本の主要な道路のほかは、狭あい道路が多く、行き止まりの道路もみられる。

(2) 位置図・区域図

位置図を図-1、区域図を図-2に示す。

2. 整備計画

整備計画図兼事業計画概要図を図-3に示す。

図-1 位置図

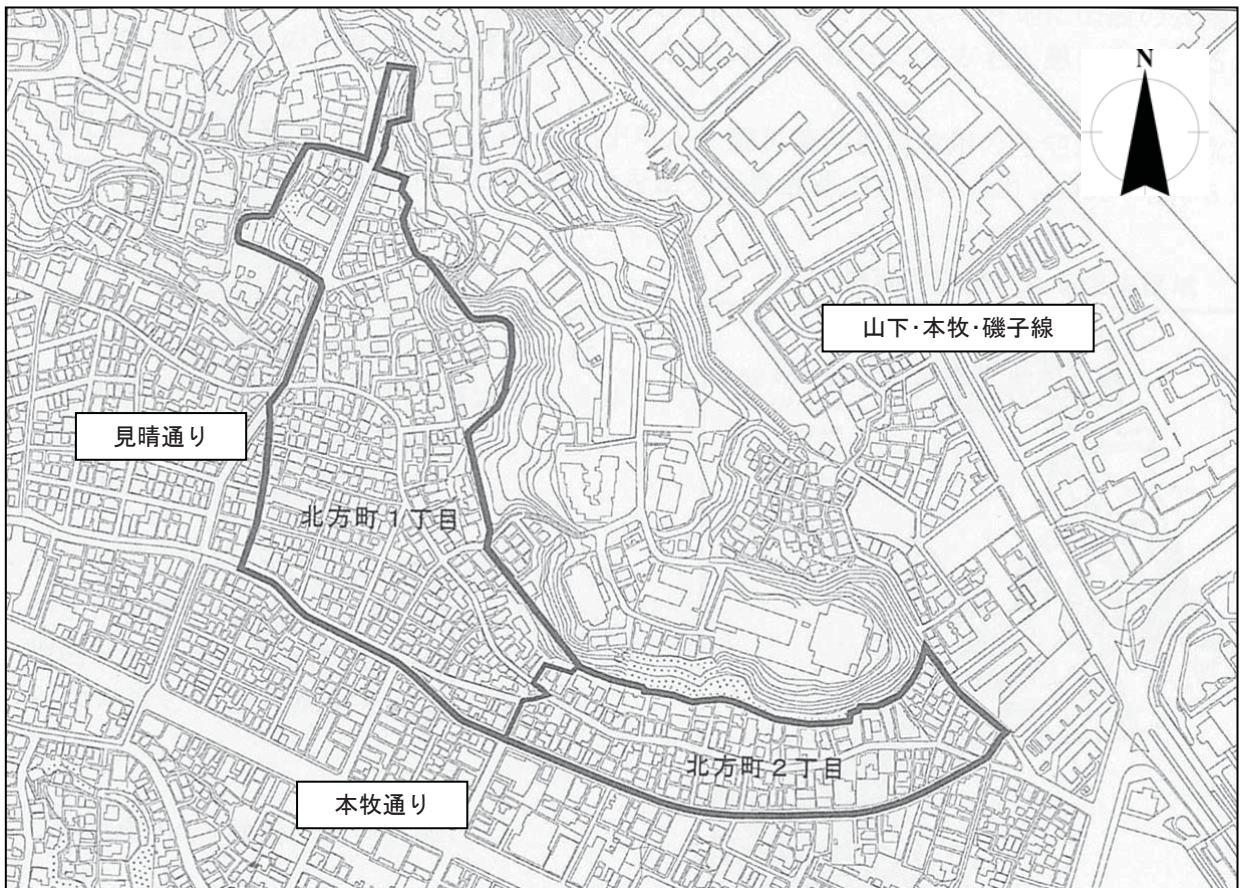


図-2 区域図

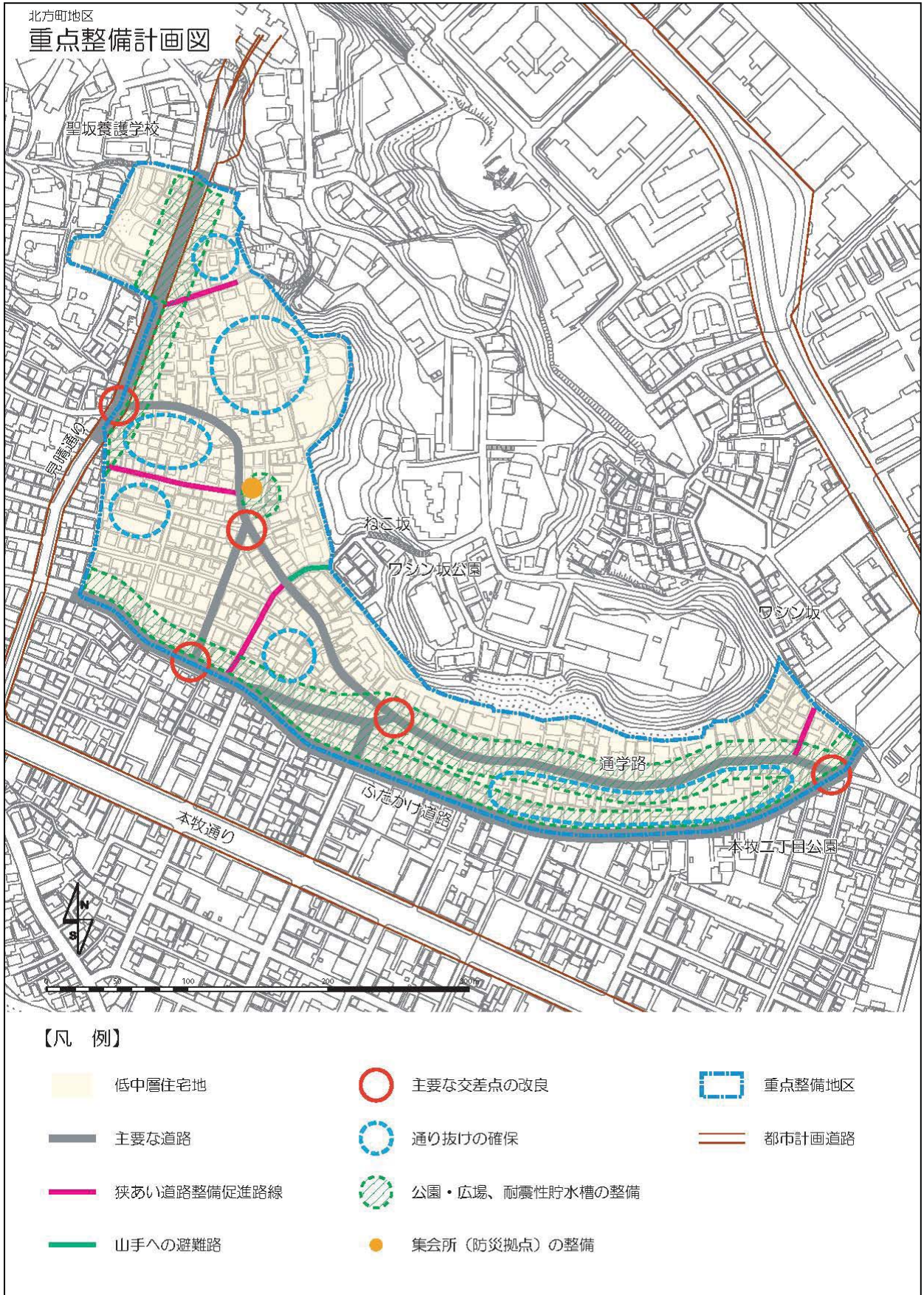


図-3 整備計画図兼事業計画概要図

3. 協議会の活動状況

(1) 地元諸元

協議会名	わがまち北方防災まちづくり協議会
協議会エリア面積	7.8ha

(2) 地元諸元

平成 24 年 6 月	勉強会の開始
平成 25 年 6 月	「わがまち北方防災まちづくり協議会」設立
平成 26 年 4 月	「わがまち北方防災まちづくり協議会」の組織認定 「防災まちづくり計画」の認定
平成 28 年 3 月	防災マップ作成
平成 26 年 5 月	防災広場用地の取得
平成 27 年 9 月	防火水槽整備工事の実施
平成 28 年 9 月	防災広場整備工事の実施



勉強会



防災訓練

4. 事業の執行状況

(1) 計画に対する事業の進捗状況(事業費ベース)

全体としての進捗率は、事業費ベースで22.6%となっている。進捗状況は以下のとおりである。

① 広場整備及び貯水槽整備

整備計画における広場面積600㎡に対して、217.6㎡を取得し、整備した。

貯水槽整備は、整備計画の3基に対して1基整備した。

(2) 実績状況写真



防災広場整備

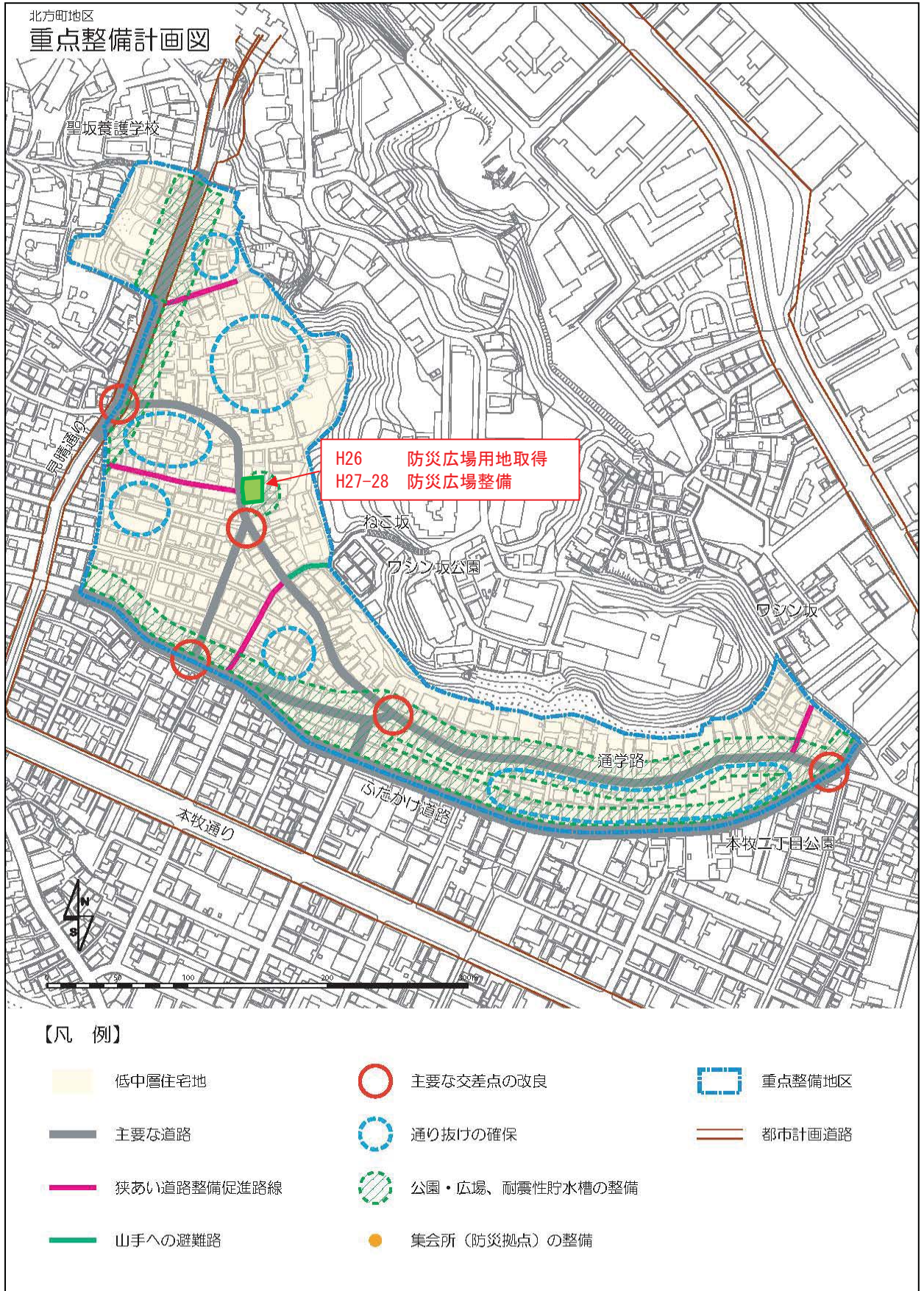
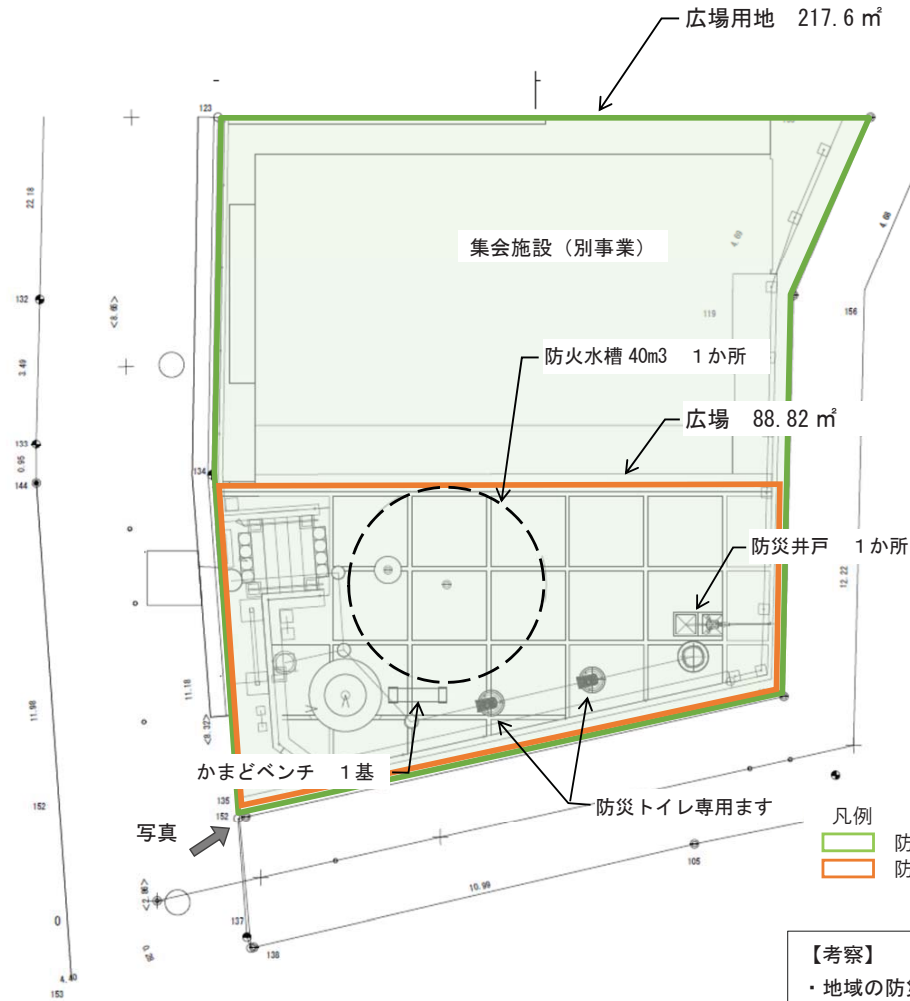


図-5 事業実績図

(7)：北方町地区
北方町地区防災広場



【考察】

- ・地域の防災まちづくり活動と連携しながら、老朽化した北方老人憩いの家が除却された。
- ・地区内には公園や広場がなかったが、防災機能を有する地域の広場が整備された。
- ・中区北方町周辺における初期消火が可能な防火設備を整備することで、防災性の向上を図ることができた。

【参考】

- ・北方老人憩いの家は、横浜市内在住の高齢者の福祉の増進を目的とする老人憩いの家や地域の集会施設として、市民に利用されてきました。
- ・昭和41年に憩いの家を開設
- ・平成24年1月に耐震診断を実施し、倒壊の危険性があると判明したため利用を休止
- ・平成25年3月に北方老人憩いの家を廃止